Canon

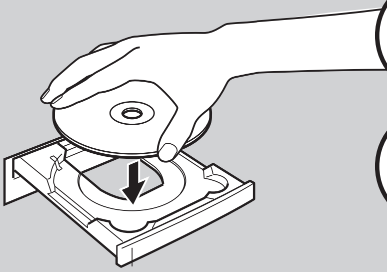
CanoScan LiDE 700F
キヤノスキャン　ライド

まず使えるようにしよう

スキャナ基本ガイド

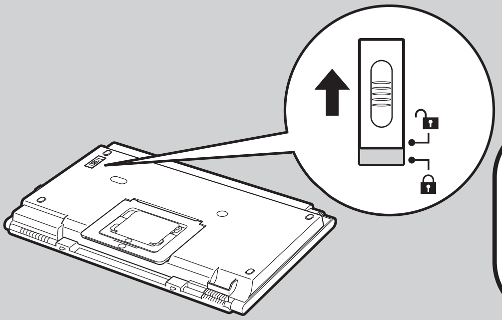
このガイドではセットアップから基本的な使いかたまでを説明しています。詳しい操作方法は、セットアップCD-ROMに入っている「スキャンガイド」（電子マニュアル）をご覧ください。

1 ソフトウェアをインストールします

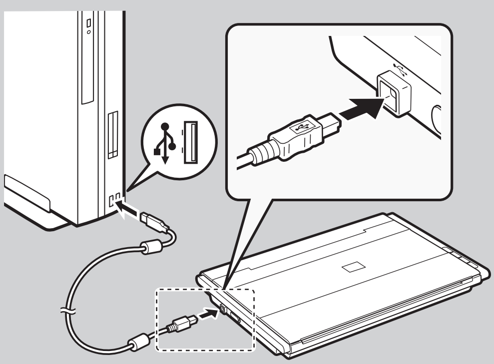


p.9 ▶ Windows
p.13 ▶ Macintosh

2 スキャナのロックを解除し、コンピュータと接続します



p.16 ～ p.17



安全にお使いいただくためには

準備しよう

パッケージの内容を確認する・・・・・・・6
スキャナ各部の名称・・・・・・・・・・・・・・・・7
ソフトウェアをインストールする・・・・・・・・8
スキャナを準備する・・・・・・・・・・・・・・16

スキャンしてみよう

スキャンする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
いろいろなスキャン方法・・・・・・・・・・・30
本体のボタンを使ってスキャンする・・・32
付属のソフトを使ってスキャンする・・・36
スキャナドライバを使ってスキャンする・・・40
フィルムをスキャンする・・・・・・・・・・・・45

もっと詳しく知ろう

スキャンガイド（電子マニュアル）を見る・・・57
アプリケーションソフトの紹介・・・・・・60
困ったときには・・・・・・・・・・・・・・・・・・61

ご使用前にかならず本書をお読みください。また、いつでも使用できるように大切に保管してください。

QT52199V01

マニュアルについて

箱を開けたら



本書

STEP 1

まず使えるようにしよう -スキャナ基本ガイド-

箱を開けてからスキャナをセットアップし、スキャンをするまでの一連の作業を順を追って説明しています。はじめてお使いになるときは、かならずこのマニュアルをお読みください。



電子
マニュアル

STEP 2 パソコンの画面で見るマニュアル

スキャンガイド（電子マニュアル）

詳しい手順や目的別スキャン、ScanGearやMP Navigator EXの使いかた、きれいにスキャンするためのヒント、困ったときの対処方法など、スキャナを使いこなすために必要な情報がまとめてあります。（→P.57「スキャンガイド（電子マニュアル）を見る」）

付属のアプリケーションのマニュアル

付属のアプリケーションと共に、以下の電子マニュアルが含まれています。これらのマニュアルは、ソフトウェアをインストールすると自動的にコンピュータへインストールされます。起動方法については、「アプリケーションソフトの紹介」（P.60）をご覧ください。

- **読取革命 Lite マニュアル（HTML）**

※ArcSoft PhotoStudioのマニュアルは、PhotoStudioの［その他］のメニューからArcSoftのウェブサイトにアクセスして入手してください。

本体のボタンを使うとこんなことができます

*スキャンする方法は「本体のボタンを使ってスキャンする（EZボタン）」（P.32）をご覧ください。

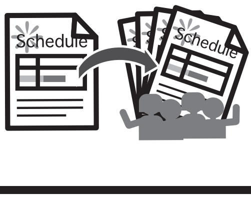
昔の写真をスキャンしてデジタル写真集に



机を占領している書類や資料をPDFに



旅行の日程表を人数分コピー



料理のレシピや絵手紙をスキャンしてメール添付で送る



目　次

■ 安全にお使いいただくためには……3
■ 設置・使用条件について……4
■ 日常のお手入れ……5

準備しよう

1 パッケージの内容を確認する……6
パッケージの内容を確認してください……6
付属のCD-ROMについて……6
2 スキャナ各部の名称……7
3 ソフトウェアをインストールする……8
インストール前の注意点……8
Windowsにインストールする……9
Macintoshにインストールする……13
Solution Menuとは……15
4 スキャナを準備する……16
スキャナのロックを解除する……16
スキャナをコンピュータに接続する……17
スキャナの置きかた……18
原稿の置きかた……20

スキャンしてみよう

5 スキャンする……26
スキャナの動作確認をする……26
6 いろいろなスキャン方法……30
7 本体のボタンを使ってスキャンする……32
EZ（イージー）ボタンとは……32
原稿をスキャンしてプリント/コピーする（COPYボタン）……33
原稿をスキャンして画像を保存する（SCANボタン）……33
原稿をスキャンしてPDF文書として保存する（PDFボタン）……34
原稿をスキャンしてメールに添付する（E-MAILボタン）……35
8 付属のソフトを使ってスキャンする……36
MP Navigator EXとは……36
MP Navigator EXを起動する……36
MP Navigator EXのシートの機能……36
MP Navigator EXのワンクリックアイコンの機能……38
原稿の種類に応じて自動でスキャン・保存する……39
9 スキャナドライバを使ってスキャンする……40
ScanGearとは……40
ScanGearを起動する……40
基本モード……41
拡張モード……42
おまかせモード……43
解像度と保存容量について……44
10 フィルムをスキャンする……45
フィルムスキャンの準備をする……45
フィルムスキャンの動作確認をする……47
フィルムスキャンが終わったら……53
ScanGearの基本モード（フィルムスキャン）……54
ScanGearの拡張モード（フィルムスキャン）……55
解像度と拡大率、データ容量について……56

もっと詳しく知ろう

11 スキャンガイド（電子マニュアル）を見る……57
スキャンガイド（電子マニュアル）を起動する……57
スキャンガイド（電子マニュアル）の使いかた……58
スキャンガイド（電子マニュアル）の目次……59
12 アプリケーションソフトの紹介……60

困ったときには

13 困ったときには……61
インストールのトラブル……61
スキャンのトラブル……63
フィルムスキャンのトラブル……67

■ 動作条件……71
■ 電子マニュアルの動作環境……71
■ 主な仕様……72
■ お問い合わせの前に……73

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

記載について

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

警 告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
注 意	取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
重 要	操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障·損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。
参 考	操作の参考になることや補足説明が書かれています。
Windows	Windows独自の操作について記載しています。
Macintosh	Macintosh独自の操作について記載しています。

- 本書では、Windows Vista operating system Ultimate Edition およびMac OS X v.10.5 の画面で説明しています。スキャナを操作している手順ではWindows Vistaの画面で説明しています。特にことわりのない限り、他のWindowsやMacintoshでも操作方法は同じです。
- 画面表示はOSやアプリケーションソフトによって、若干異なります。また、画面表示は一部合成しています。
- 本書では、Windows Vistaの各 EditionをWindows Vista、Windows XP Home EditionとWindows XP ProfessionalをWindows XPと記載しています。また、特に制限がない場合、Windows 2000、Windows XP、Windows VistaをWindowsと記載しています。

商標について

- Microsoft は、Microsoft Corporationの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- MacintoshおよびMac は米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。
- Adobe、Adobe RGBおよびAdobe RGB (1998) は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- ©ArcSoft, Inc. All rights reserved for PhotoStudio.
- その他、本書に記載されている社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

お客様へのお願い

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 出版物などからスキャンした文章や画像を自己の使用以外の目的でお使いになることは禁じられておりますので、ご注意ください。
- 一部はアドビ システムズ社で著作権を所有しており、その許可の下に転載されています。

原稿をスキャンするときの注意事項

- 紙幣、郵便切手、印紙ならびに国債や株券等の有価証券、免許証や旅券等の証明書等の複製は、偽造罪等により刑事罰の対象となる場合があります。
- 雑誌や書籍、新聞記事など他人の著作物を権利者に無断で複製（電子データ化することも含まれます）することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真等を複製する場合には肖像権が問題となる場合があります。

安全にお使いいただくためには

本機を安全にお使いいただくために、ご使用になる前に、かならずお読みください。

⚠警 告

- 本製品から微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをお使いの方で異常を感じた場合は、本製品から離れて、医師にご相談ください。

■設置について

⚠警 告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が本機内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

⚠注 意

- 本機を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 高温な場所
  - 火気に近い場所
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。本機が落下するなどして、けがの原因になることがあります。
- スタンドを使って立てて設置する場合、「スタンドのセットのしかた」（P.19）をよくお読みになり、正しく設置してください。また、必要なとき以外は原稿台カバーを閉じておいてください。本機が倒れるなどしてけがの原因になることがあります。
- 狭い棚に押し込んだり、テーブルクロスをかけたり、毛足の長いじゅうたんの上などに置いて使用しないでください。本機内に熱がこもり、火災や故障の原因になることがあります。

■電源について

⚠警 告

- USBケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、USBケーブルの上に重いものを乗せたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- USBケーブルを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- USBケーブルは奥までしっかりと差し込んでください。しっかり差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属のケーブル類以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 近くに雷が発生したときは、本機に接続しているUSBケーブルを抜いてご使用をお控えください。雷によっては火災・感電・故障の原因になります。

⚠注 意

- USBケーブルを抜くときは、プラグ部分を持って抜いてください。USBケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- ケーブル類の抜き差し時は、過度な力を加えないでください。ケーブルが破損して、火災や感電の原因になることがあります。

■取り扱いについて

⚠警 告

- 分解したり、改造したりしないでください。内部には高い電圧がかかっている部分があり、火災や感電の原因になります。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに本機に接続しているUSBケーブルを抜き、お近くの修理サービス窓口にご連絡ください（別紙「サポートガイド」）。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 本機を持ち運ぶときは、ケーブル類を外して行ってください。ケーブル類が破損して、火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、かならず本機に接続しているUSBケーブルを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 清掃のときは、柔らかい乾いた布でふき取ってください。汚れがひどい場合は水を含ませて固く絞った布を使用し、その後柔らかい乾いた布で水気をふき取ってください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本機内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

⚠注 意

- 本機内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水や液体をこぼさないでください。これらが内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。これらが内部に入った場合は、直ちに本機に接続しているUSBケーブルを抜き、お近くの修理サービス窓口にご連絡ください（別紙「サポートガイド」）。
- 原稿台カバーは、完全に止まるまで手を添えて開閉してください。開閉の途中で手を離すと、手を挟んだり、本機が破損しけがの原因になることがあります。
- 本機の上に重いものを乗せないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- 原稿台に2kg以上の物を乗せないでください。また原稿台カバーや原稿台ガラスを上から強く（2kgを超える力で）押さないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。
- 原稿台ガラスに辞書などの重いものを落とさないように十分注意してください。原稿台ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。
- 長期間使用しない場合は、安全のためUSBケーブルを抜いておいてください。
- 付属のCD-ROMをオーディオ用CDプレーヤーで使用しないでください。大音量により、耳を痛めるおそれがあります。

設置・使用条件について

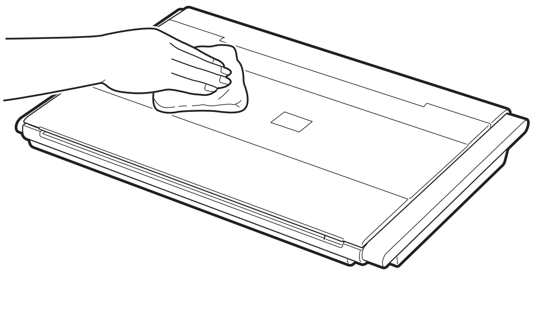
- 急激な温度変化がある場所には設置しないでください。
  温度の低い場所から高い場所へ移動すると、結露が生じ、画像不良の原因になることがあります。この場合は、しばらく放置し環境に十分慣らしてからご使用ください。
- 直射日光や強い光があたる場所では使用しないでください。画像不良や故障の原因になることがあります。やむを得ず、日光のあたる場所で使用する場合、厚手のカーテンなどで光をさえぎってください。
- 本機は、周囲に十分なスペースをとって設置してください（周囲約20cm）。
- 使用環境については、「主な仕様」（P.72）をお読みください。

日常のお手入れ

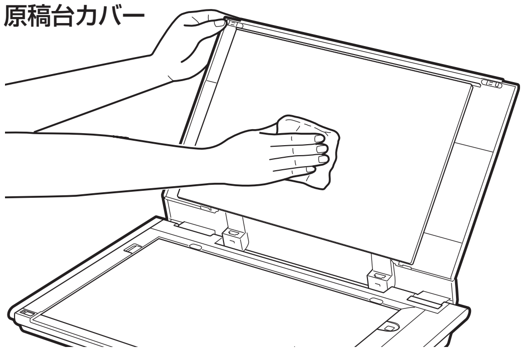
本機をご使用中に、外装や原稿台ガラス、原稿台カバーなどに汚れやほこりが付着したときは、次のような方法でふき取ってください。

1. USBケーブルをコンピュータから外します。
2. **原稿台ガラスや原稿台カバーの汚れやほこりは、柔らかい乾いた布でふき取ります。汚れがひどい場合は水を含ませて固く絞った布を使用し、その後柔らかい乾いた布で水気をふき取ってください。特にガラス面は、ふきあとが残らないように十分にふき取ってください。ティッシュやきめの粗い布などを使用すると表面に傷がつくことがありますので使用しないでください。**
   - 水気は十分にふき取ってください。ガラス面や原稿台カバーに水気が残ったままスキャンすると画像に影響がでる場合があります。
   - 本体背面のコネクタ類や金属部分は濡らさないでください。もし水気が付いたときは、乾いた布で水気を十分にふき取ってください。
   - 水で濡らした布をよく絞らずにふいたり、水や洗剤を直接噴霧しないでください。本機内部に水分が侵入し、原稿台ガラスの内側やセンサなどに付着し画像不良や故障の原因となることがあります。
   - 絶対にアルコールやシンナー、ベンジンなどを使わないでください。外装が変形や変色したり、溶解したりすることがあります。

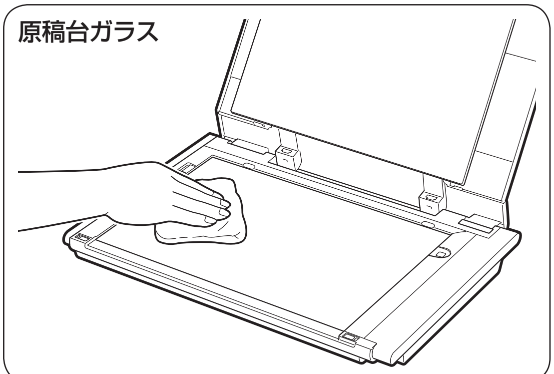
外装



原稿台カバー



原稿台ガラス





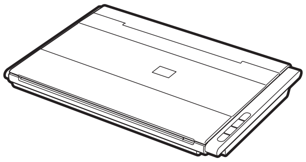
絶対にアルコールやシンナー、ベンジンなどを使わないでください。

重要

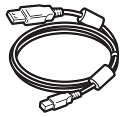
原稿台カバーや原稿台ガラスを上から強く押さないでください。原稿台ガラスが破損して、けがの原因になることがあります。

1 パッケージの内容を確認する

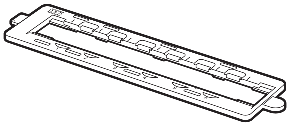
パッケージの内容を確認してください



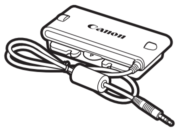
スキャナ本体



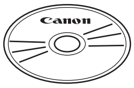
USBケーブル



35mm用フィルムガイド



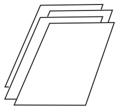
フィルム用光源ユニット



セットアップCD-ROM



まず使えるようにしよう
（スキャナ基本ガイド：本書）



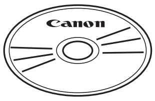
・**サポートガイド**
・**保証書**（外箱に貼付）

参考

万一、不足しているものや損傷しているものがある場合は、お買い求めの販売店までご連絡ください。
説明書およびその他ガイド類は、いつでも使用できるように大切に保管してください。

付属のCD-ROMについて

■セットアップCD-ROM



付属のセットアップCD-ROMには、以下の主なソフトウェアと「スキャンガイド」(電子マニュアル)が入っています。お使いのコンピュータのハードディスクへインストールしてご使用ください。

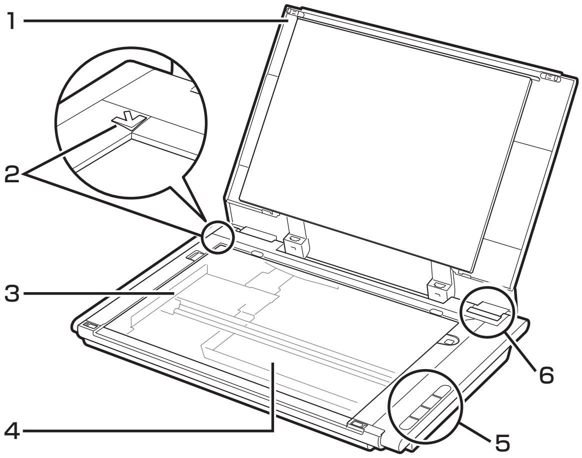
重要

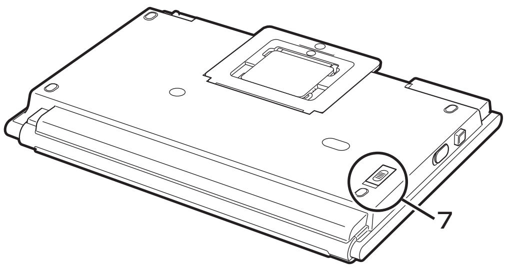
セットアップCD-ROMには、紛失や破損すると再発行・再配布できないソフトウェアや重要な情報が含まれています。使用後も紛失しないように大切に保管してください。万一、紛失、破損した際は「スキャナドライバを新しくするときは？」（P.74）をご覧ください。

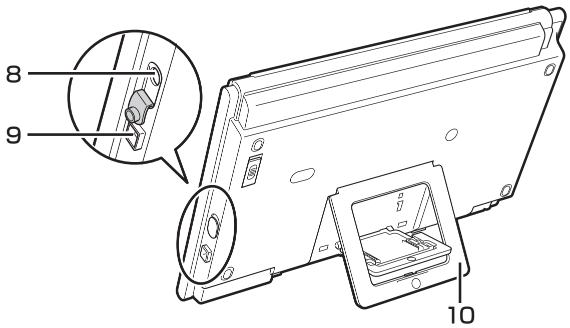
スキャナドライバ	**ScanGear（スキャンギア）**
ユーティリティソフト	**MP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス）**
メニュー画面ソフト	**Solution Menu（ソリューション・メニュー）**
画像編集（フォトレタッチ）ソフト	**ArcSoft PhotoStudio（アークソフト・フォトスタジオ）**
活字カラー OCRソフト	**読取革命Lite（ヨミトリカクメイ・ライト）**
電子マニュアル	**スキャンガイド**

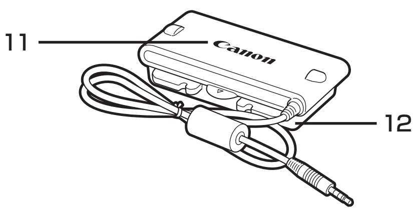
※ 各ソフトウェアについては、「スキャナドライバを使ってスキャンする（ScanGear)」（P.40)、「アプリケーションソフトの紹介」（P.60）をご覧ください。
※ 電子マニュアルの見かたについては、「スキャンガイド（電子マニュアル）を見る」（P.57）をご覧ください。
※ 各ソフトウェアのインストール容量は、セットアップCD-ROMの「おまかせインストール」画面でご確認ください。

2 スキャナ各部の名称









1 原稿台カバー
セットした原稿を押さえます。

2 原稿位置合わせマーク
原稿の角をこのマークに合わせます。

3 原稿読み取りユニット
光をあてて、原稿を読み取るスキャナの心臓部です。

4 原稿台
スキャンする原稿を置きます。

5 EZ（イージー）ボタン（→P.32）
ボタンを押すだけで簡単に目的別のスキャンができます。

- ■ COPY（コピー）ボタン
- ■ SCAN（スキャン）ボタン
- ■ PDF（ピーディーエフ）ボタン
- ■ E-MAIL（Eメール）ボタン

6 180°オープンボタン
原稿台カバーを全開にするためのボタンです。

7 ロックスイッチ（→P.16）
原稿読み取りユニットをロック、または解除します。

8 FAUコネクタ
フィルム用光源ユニットのケーブルを接続するコネクタです。

9 USBコネクタ
付属のUSBケーブルを接続するコネクタです。

10 スタンド（→P.19）
スキャナを立てて置くときに引き出します。

11 フィルム用光源ユニット
フィルムに光をあてる光源です。

12 キャップ
フィルム用光源ユニットの発光面を保護するためのカバーです。

重要

このスキャナには、電源スイッチや電源ランプはありません。ACアダプタや電源ケーブルは不要です。コンピュータとスキャナをUSBケーブルで接続し、コンピュータの電源を入れたときに、スキャナの電源も入ります。

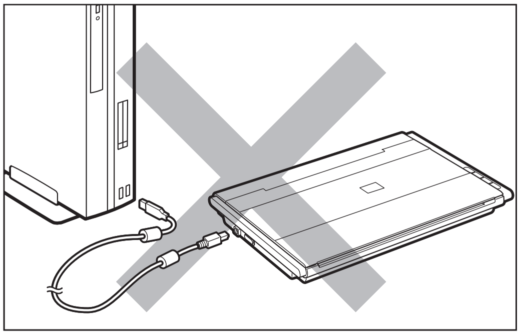
3 ソフトウェアをインストールする

スキャナを使用するには、ソフトウェアのインストールが必要です。まず、以下の注意をお読みになってから、「Windowsにインストールする」(P.9)、「Macintoshにインストールする」(P.13)にお進みください。

インストール前の注意点

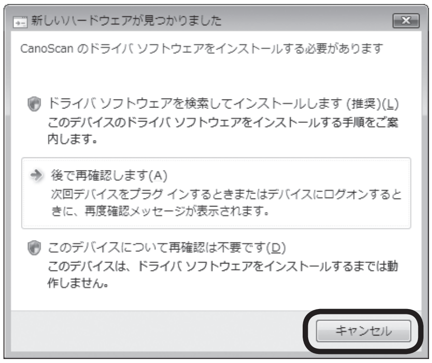
スキャナを接続する前にソフトウェアをインストールしてください。

ソフトウェアをインストールする前にスキャナをコンピュータに接続してしまうと、スキャナが正常に動作しなくなる原因になります。十分に注意してください。



重要　スキャナをコンピュータに接続しないでください。もし接続している場合は、USBケーブルを外してください。

参考　**Windowsで右のような画面が表示されたときは**
パソコン側のUSBケーブルを抜き、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。
USBケーブルを抜くと右の画面が消える場合があります。
※ ソフトウェアをインストールする前にスキャナをコンピュータへ接続した場合、この画面が表示されます。
（お使いのコンピュータにより若干表示が異なります。）



起動しているプログラムはあらかじめ終了してください。

ハードディスクの空き容量を確認してください。☞ P.71

ハードディスクに十分な空き容量がない場合は、「困ったときには」の「インストールのトラブル：症状3」(P.62) を参考に、不要なファイルやアプリケーションソフトをアンインストール（削除）してください。

「Windowsにインストールする」☞ P.9

「Macintoshにインストールする」☞ P.13

参考　インストールがうまくできなかった場合は、「困ったときには」の「インストールのトラブル」(P.61～62) をご覧ください。

Windowsにインストールする

Windowsを複数のユーザー設定でお使いのかたへ

重要

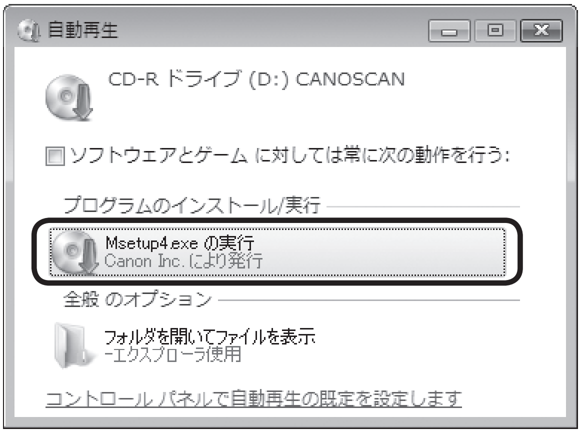
- ソフトウェアのインストールはAdministrator（システム管理者）が行ってください。
- 複数ユーザー設定をしていないときは、そのままインストールを続けてください。
  詳しくは、Windowsのマニュアルやヘルプをご覧ください。
- インストール処理中はユーザーの切り替えを行わないでください。

1 コンピュータの電源を入れ、セットアップCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

▼「自動再生」画面が表示されます。
Windows Vistaをお使いの場合→手順2へ
Windows XP/2000をお使いの場合→手順4（P.10）へ

2 [Msetup4.exeの実行] ボタンをクリックします。

▼「ユーザーアカウント制御」画面が表示されます。



3 [続行] ボタンをクリックします。

▼ メインメニュー画面が表示されます。



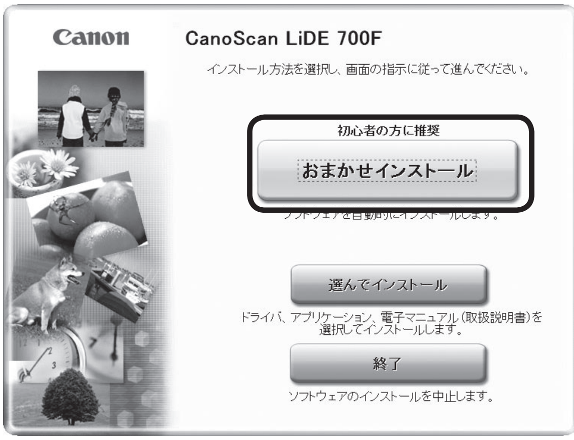
参考

セットアップCD-ROMをセットしても画面が自動的に表示されないときは、「困ったときには」の「インストールのトラブル：症状2」（P.61～62）をご覧ください。

4 ［おまかせインストール］ボタンをクリックします。

▼「おまかせインストール」の一覧と、各ソフトウェアの説明が表示されます。

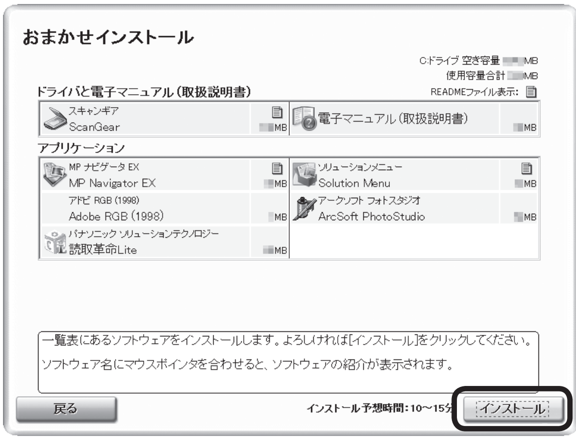
ここでは、すべてのソフトウェアをインストールする「おまかせインストール」をおすすめします。
ソフトウェアを選択してインストールするときは「選んでインストール」を選んでください。



5 ［インストール］ボタンをクリックします。

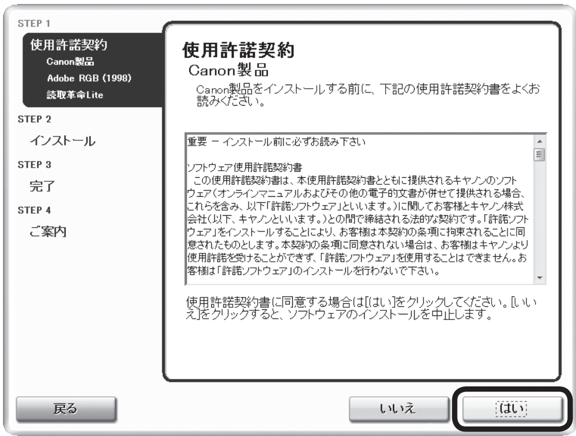
CD-ROM内のすべてのソフトウェアをインストールします。

▼ソフトウェア使用許諾契約の画面が表示されます。

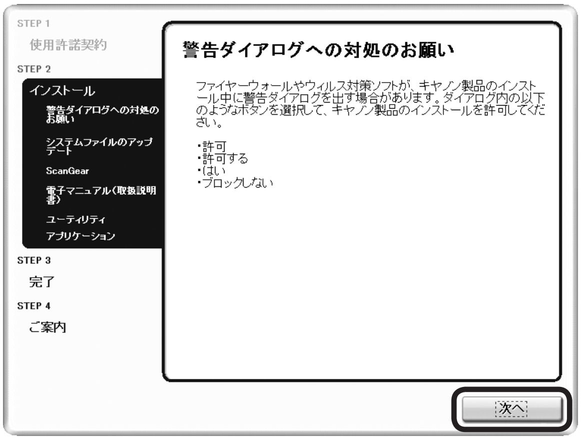


6 使用許諾契約をよくお読みになり、［はい］ボタンをクリックします。

引き続き、各アプリケーションソフトの使用許諾契約の画面で、［はい］ボタンをクリックします。［いいえ］ボタンをクリックしたアプリケーションはインストールされません。



7 「警告ダイアログへの対処のお願い」画面の内容をよくお読みになり、[次へ]ボタンをクリックします。



8 インストールが開始されます。

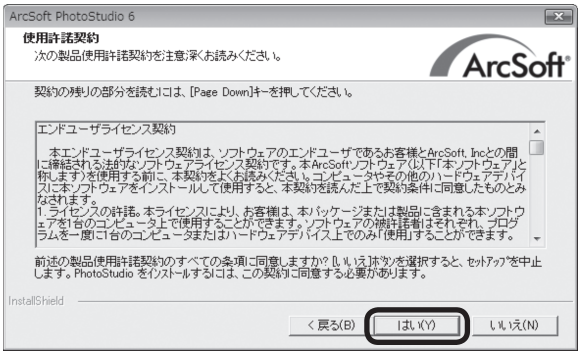
▼ インストールの進行状況画面が表示されます。
以下のソフトウェアがインストールされます。
- ScanGear
- 「スキャンガイド」（電子マニュアル）
- MP Navigator EX
- Solution Menu
- Adobe RGB（1998）※

※ Adobe RGB（1998）は、MP Navigator EXの「JPEG/Exifファイルを Adobe RGBで保存する」や「かんたんカラーマッチング」機能を使用するために必要です。



9 右のアークソフトの使用許諾画面をよくお読みになり、[はい]ボタンをクリックします。

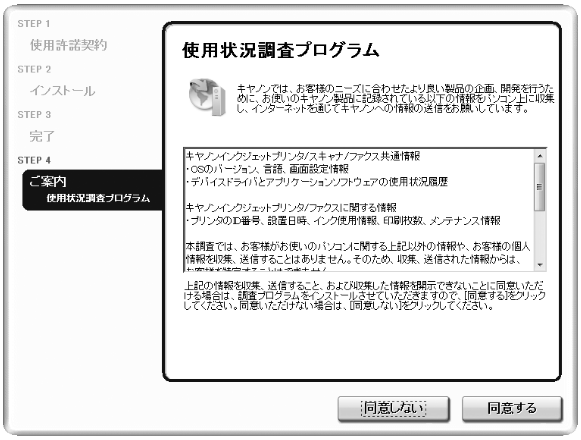
以下のソフトウェアがインストールされます。
- ArcSoft PhotoStudio
- 読取革命Lite



次のページへ

10 「使用状況調査プログラム」画面の内容を確認します。

内容に同意いただけましたら［同意する］ボタンをクリックしてください。
［同意しない］ボタンをクリックした場合、使用状況調査プログラムはインストールされませんが、本製品は正常にご使用いただけます。



11 ［再起動］ボタンをクリックします。

パソコンを再起動しないと、スキャナを使用できません。



12 再起動のあと、セットアップCD-ROMを取り出します。

再起動後、Solution Menu画面が表示されます。(→P.15)
ここでは、Solution Menu画面のメニューをクリックしないでください。

> **重要**
> セットアップCD-ROMには、紛失や破損すると再発行・再配布できないソフトウェアや重要な情報が含まれています。
> 使用後も紛失しないように大切に保管してください。

次は「スキャナを準備する」☞ P.16

Windows

Macintoshにインストールする

Mac OS Xを複数のユーザ（アカウント）でお使いのかたへ

重要

- かならず登録した管理者のアカウントでログインしてソフトウェアをインストールしてください。追加したアカウントにコンピュータの管理権が設定されていてもソフトウェアはインストールできません。
- インストール処理中はユーザの切り替えを行わないでください。

1 コンピュータの電源を入れ、セットアップCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。



2 [Setup] アイコンをダブルクリックします。

3 管理者（登録したユーザ）の名前とパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックしてください。



▼ メインメニュー画面が表示されます。

参考

パスワードを忘れたときは、Macintoshコンピュータ、またはMac OS Xに付属の「Welcome to Mac OS X」、あるいは「インストール&設定ガイド」をご覧ください。

4 [おまかせインストール] ボタンをクリックします。

▼「おまかせインストール」の一覧と、各ソフトウェアの説明が表示されます。

ここでは、すべてのソフトウェアをインストールする「おまかせインストール」をおすすめします。
ソフトウェアを選択してインストールするときは「選んでインストール」を選んでください。



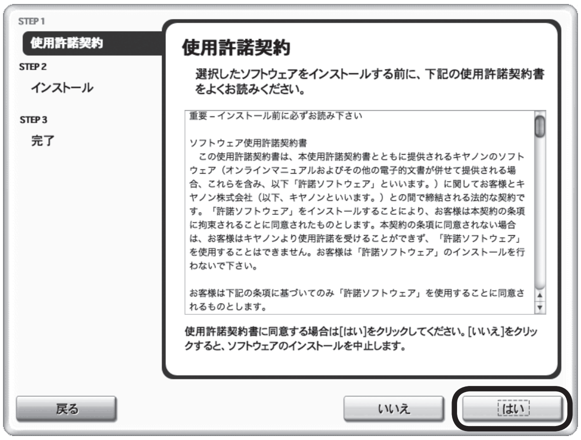
5 [インストール] ボタンをクリックします。

CD-ROM内のすべてのソフトウェアをインストールします。

▼ ソフトウェア使用許諾契約の画面が表示されます。



6 使用許諾契約をよくお読みになり、[はい] ボタンをクリックします。



7 インストールが開始されます。

▼ インストールの進行状況画面が表示されます。
以下のソフトウェアがインストールされます。
- ScanGear
- 「スキャンガイド」（電子マニュアル）
- MP Navigator EX
- Solution Menu



8 右のアークソフトの使用許諾画面が表示されたら、[はい] ボタンをクリックします。

引き続き、各アプリケーションソフトのインストール画面で [はい] ボタンをクリックします。
以下のソフトウェアがインストールされます。
- ArcSoft PhotoStudio
- 読取革命Lite



9 [再起動] ボタンをクリックします。

パソコンを再起動しないと、スキャナを使用できません。



10 再起動のあと、セットアップCD-ROMを取り出します。

再起動後、[Solution Menu] アイコンがDockに登録されます。（→P.15）
ここでは、Solution Menu画面のメニューをクリックしないでください。

> **重要**
> セットアップCD-ROMには、紛失や破損すると再発行・再配布できないソフトウェアや重要な情報が含まれています。
> 使用後も紛失しないように大切に保管してください。

次は「スキャナを準備する」☞ P.16

Solution Menuとは

メニューをクリックするだけでMP Navigator EXや電子マニュアルを起動することができます。ソフトウェアのインストール直後、パソコンを再起動した後に表示されます。

重要

スキャナとコンピュータを接続する前に、Solution Menu画面のメニューをクリックしないでください。



次の方法でも、Solution Menuを起動できます。

Windows デスクトップの［Canon Solution Menu］アイコンをダブルクリックします。

Macintosh Dockの［Solution Menu］アイコンをクリックします。

参考

キヤノン製プリンタをお使いの場合は、表示されるメニューの数が異なることがあります。

4 スキャナを準備する

スキャナのロックを解除する

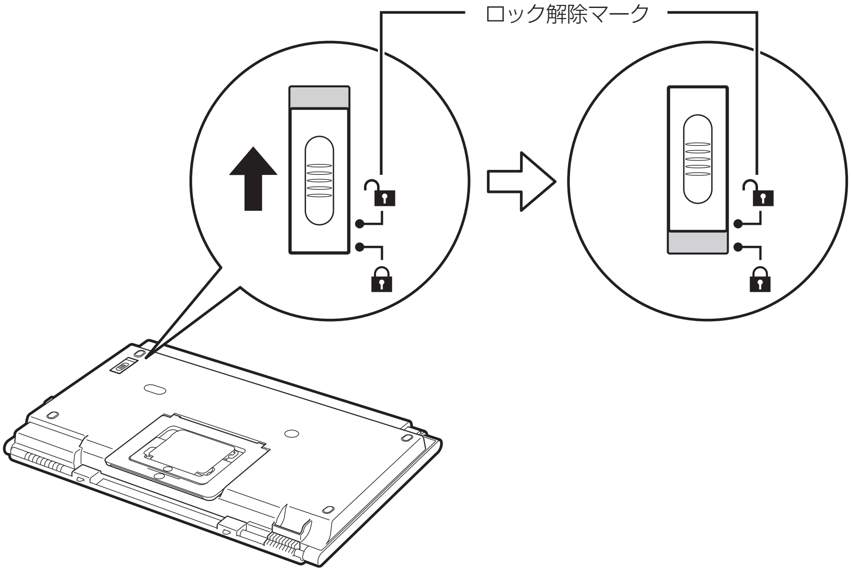
はじめに、輸送時の破損防止のためのロック（原稿読み取りユニットを固定）を解除します。設置場所については、「設置・使用条件について」（P.4）をお読みの上、安全で安定した場所に設置してください。

> 重要　スキャナをコンピュータに接続する前に、かならずロックを解除してください。ロックを解除しないで使用すると、故障やトラブルの原因となることがあります。

1 スキャナのオレンジ色のテープをはがします。

2 スキャナを裏返します。

3 本体底面のロックスイッチを、ロック解除マーク（🔓）の方向に動かして、ロックを解除します。



4 スキャナを元に戻します。

> 重要　スキャナを移動したり輸送したりするときは、原稿読み取りユニットを固定するため、ロックスイッチをロックマーク（🔒）の方向に動かしてかならずロックしてください。

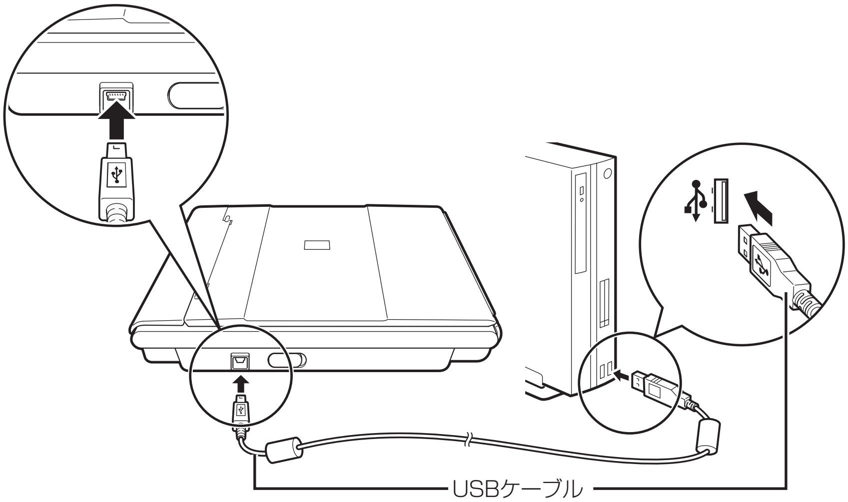
スキャナをコンピュータに接続する

ロックを解除したあと、スキャナをコンピュータに接続します。

1 **スキャナのロックが解除されていることを確認します。（→P.16）**

2 **付属のUSBケーブルをスキャナとコンピュータに接続します。**

USBケーブルのプラグは、コンピュータ側とスキャナ側で形が異なります。それぞれの形と差し込み方向に注意して接続してください。



重要

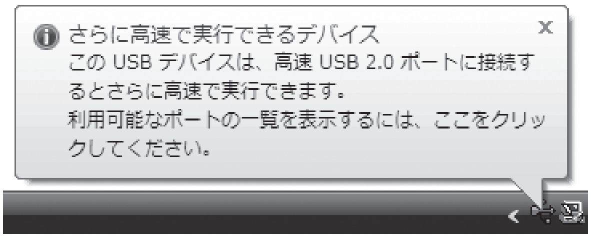
- USBケーブルは、かならず付属のものをご使用ください。他のUSBケーブルをご使用になると故障の原因となることがあります。
- USBコネクタの金属部分に触れないでください。

参考

電源について

このスキャナには電源スイッチが付いていません。コンピュータとスキャナをUSB ケーブルで接続してあれば、スキャナの電源はコンピュータの電源に連動して「入/ 切」します。また、コンピュータの電源が入っているときに、スキャナのUSB ケーブルを抜き差ししてスキャナの電源を「入/ 切」することもできます。

USB（USB1.1相当）のポートに接続後、右図または類似したメッセージが表示されたときは、☒をクリックして閉じてください。USB 2.0よりデータ転送速度が遅くなりますが、問題なくスキャナを使用できます。



これでスキャナの接続は終了です。

「スキャナの置きかた」☞ P.18

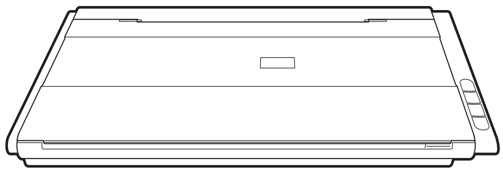
「スキャンする」☞ P.26

スキャナの置きかた

このスキャナは、設置場所の広さやスキャンする原稿の種類、目的などに応じていろいろな置きかたができます。設置場所については、「設置・使用条件について」（P.4）をお読みの上、安全で安定した場所に設置してください。

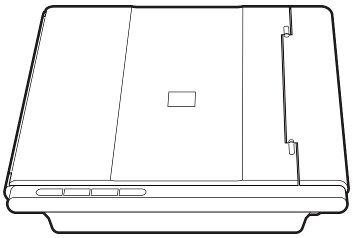
横向きに置く（ポジション1）

EZボタンが右側になり、原稿台カバーは手前から奥へ向かって開きます。（→P.20「原稿の置きかた」）



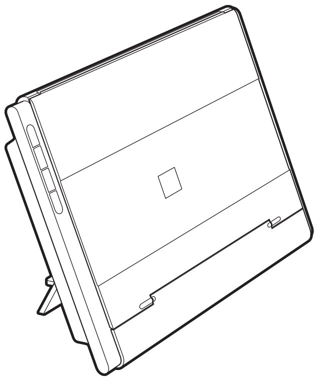
縦向きに置く（ポジション2）

EZボタンが手前になり、原稿台カバーは右側に開きます。（→P.20「原稿の置きかた」）



スタンドで立てる（ポジション3）

最も省スペースな置きかたです。1枚の原稿や2つ折り程度の薄い原稿のスキャンに向いています。（→ P.19「スタンドのセットのしかた」）

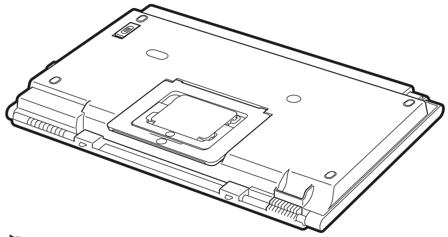


スタンドのセットのしかた

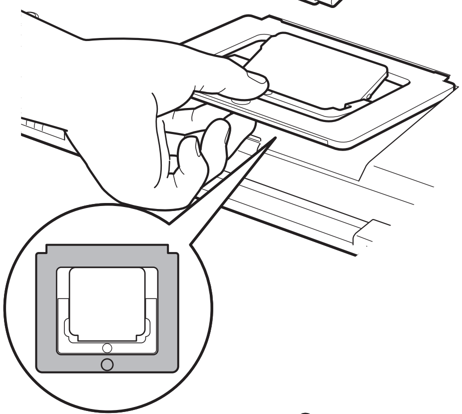
このスキャナは、スタンドを使って立てることができます。

重要
- スキャナにUSBケーブルを接続している場合は、スキャナ側のプラグをいったん抜いてから立てることをおすすめします。
- スキャナの重量は約2kgです。スキャナを持ち上げるときは両手でしっかりと持ち、落とさないように注意してください。
- スタンドで立てたまま移動するときは、原稿台カバーが開かないようにかならず手で押さえてください。

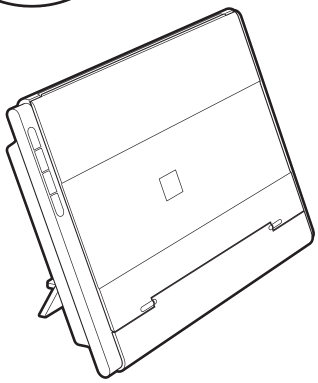
1 **スキャナを裏返します。**



2 **スタンドの外側枠を図のように持ち上げ、「カチッ」という音がするまで起こします。**

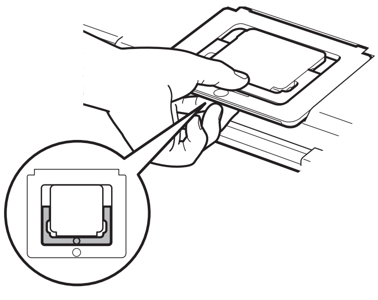


3 **ゆっくりとスキャナを立ててください。**



スタンドで立ててスキャンする場合の原稿の置きかたについては、「スタンドで立ててスキャンする場合」（P.25）をご覧ください。

参考
スタンドをたたむときは
スタンドの内側の枠を押してたたみ、外側の枠を「カチッ」という音がするまで押してください。



原稿の置きかた

本スキャナは、置きかたや原稿の大きさ、種類により、原稿台カバーの開きかたや原稿のセット方法が異なります。スキャンする原稿に合わせて原稿をセットしてください。正しくセットしないと、原稿によっては、サイズが正しくスキャンできない場合があります。

> **重要**
> - 原稿台カバーを開くときは、カバーが完全に止まるところまで手を添えて開いてください。
> - 原稿台に2kg以上の物を乗せないでください。また原稿を強く（2kgを超える力で）押さえないでください。強く押さえすぎると、スキャナが正しく動作しなくなったり、ガラスの破損などの危険があります。
> - 原稿台カバーを全開にしたり、スタンドで立ててスキャンする場合は、原稿の種類を自動判別できないことがあります。MP Navigator EXまたはScanGearで原稿の種類を指定してスキャンしてください。

原稿台より小さな原稿をスキャンする場合

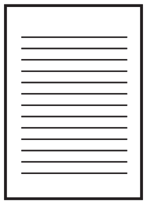
1枚の写真、はがき、名刺、CD/DVDの場合 ☞ P.21

複数枚の写真、はがき、名刺、CD/DVDの場合 ☞ P.22

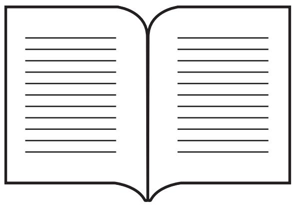




雑誌、文書の場合 ☞ P.23



原稿台より大きな原稿をスキャンする場合（原稿台カバーを全開にする）☞ P.24



スタンドで立ててスキャンする場合 ☞ P.25

フィルムをスキャンする場合 ☞ P.45

原稿台より小さな原稿をスキャンする場合

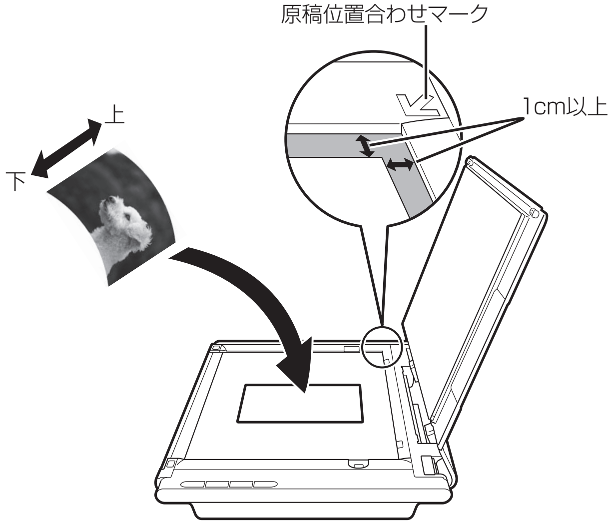
原稿台より小さな原稿、写真やA4サイズ、B5サイズの書類などは、以下の手順でセットします。

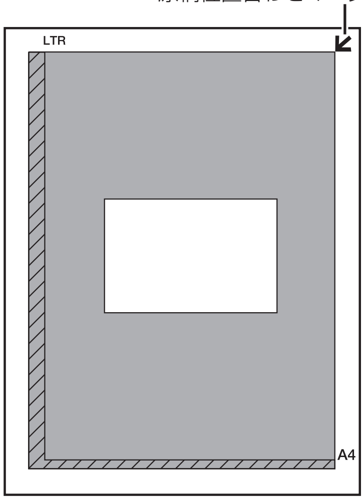
●1枚の写真、はがき、名刺、CD/DVDの場合

1 **原稿台カバーを開きます。**

2 **原稿の読み取る面を下向きにして原稿台にセットします。**

原稿台端の斜線部分から1cm以上、原稿位置合わせマークからも内側に1cm以上離して原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。

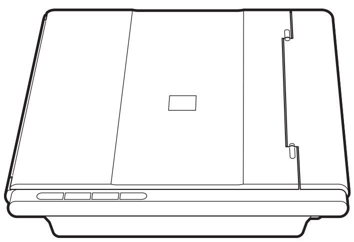




> **重要** 原稿が大きく原稿台の端や原稿位置合わせマークから離して置けない場合（A4写真など）は、ファイル形式を指定してスキャンしてください。

> **参考**
> - 原稿の傾きが10度以内のときは、傾きが自動的に補正されます。
> - いろいろな形に切り抜いた写真や3cm四方より小さい原稿は、正しく切り抜いて（クロップして）読み込むことができません。
> - CD/DVDのレーベル面が鏡面状の場合、期待通りにスキャンできないことがあります。
> - 原稿台カバーはきちんと閉じてスキャンしてください。

3 **原稿がずれないように静かに原稿台カバーを閉じます。**

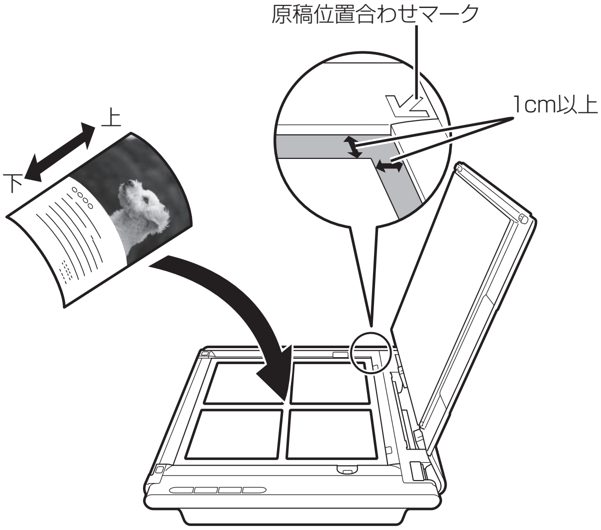


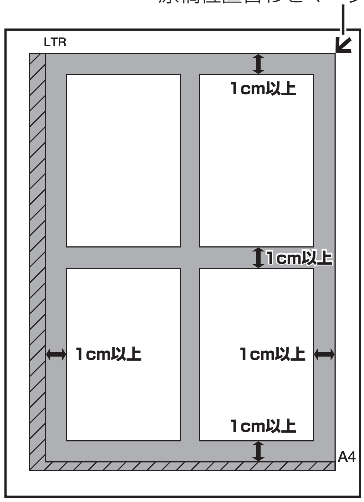
●複数枚の写真、はがき、名刺、CD/DVDの場合

1 原稿台カバーを開きます。

2 原稿の読み取る面を下向きにして原稿台にセットします。

原稿台端の斜線部分から1cm以上、原稿位置合わせマークからも内側に1cm以上離して原稿を置いてください。また、原稿と原稿の間も1cm以上離して原稿を置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。

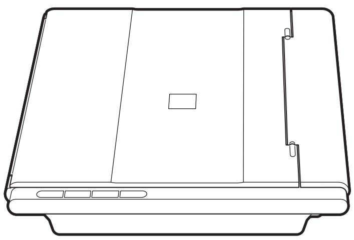




参考

- 原稿と原稿の間は1cm以上あけてください。
- 原稿の傾きが10度以内のときは、傾きが自動的に補正されます。
- 原稿は10枚まで置くことができます。
- いろいろな形に切り抜いた写真や3cm四方より小さい原稿は、正しく切り抜いて（クロップして）読み込むことができません。
- CD/DVDのレーベル面が鏡面状の場合、期待通りにスキャンできないことがあります。
- 原稿台カバーはきちんと閉じてスキャンしてください。

3 原稿がずれないように静かに原稿台カバーを閉じます。

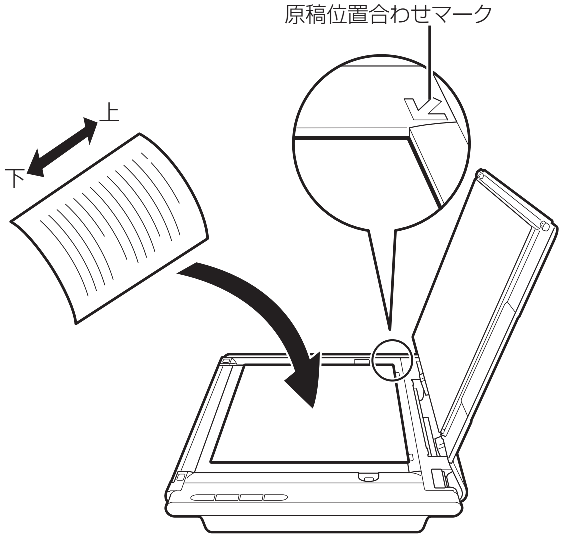


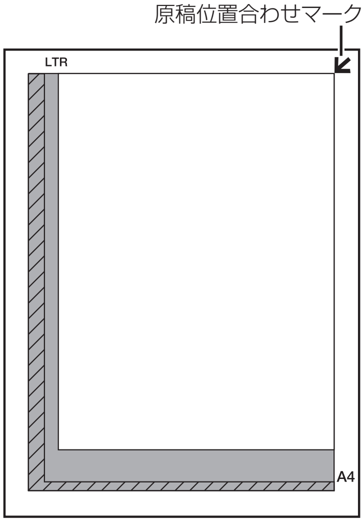
●雑誌、文書の場合

1 **原稿台カバーを開きます。**

2 **原稿の読み取る面を下向きにして原稿台にセットします。**

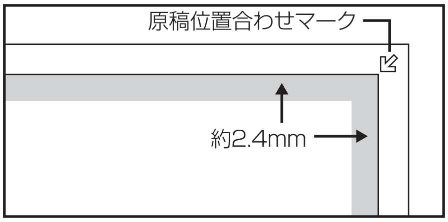
原稿の上端を原稿位置合わせマークに合わせて置いてください。斜線部分は、原稿を読み取ることができません。



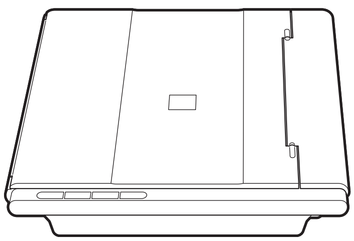


参考

原稿位置合わせマークから内側に最大約2.4mmの範囲は読み取れない場合があります。



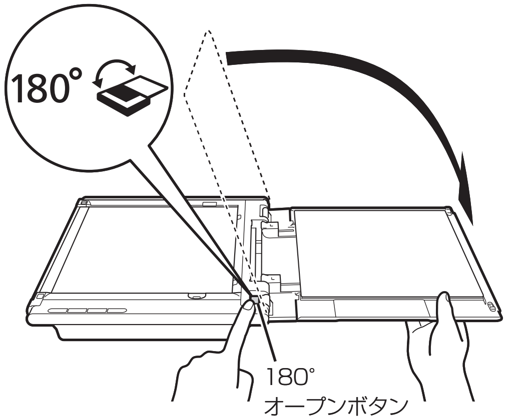
3 **原稿がずれないように静かに原稿台カバーを閉じます。**



原稿台より大きな原稿をスキャンする場合（原稿台カバーを全開にする）

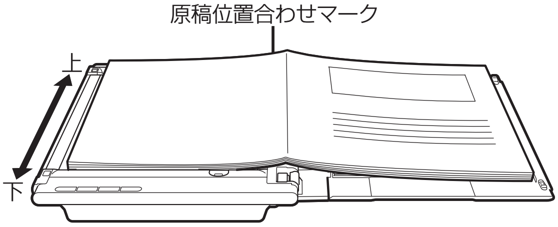
原稿台より大きな原稿は、180°オープンボタンで原稿台カバーを開いてからセットします。
原稿台カバーを開くときには、開く側に約30cmのスペースがあることと、設置物がないことを確認してください。

1 180°オープンボタンを押しながら、原稿台カバーをゆっくりと全開にします。



重要
全開にするときは、原稿台カバーにかならず最後まで手を添えて開いてください。

2 原稿をセットします。

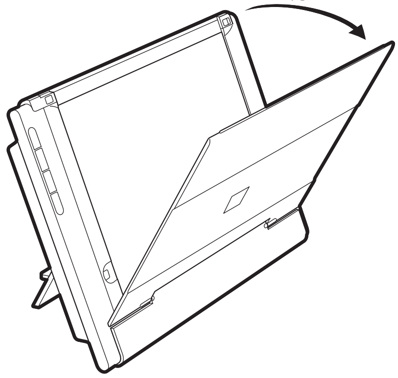


参考
- 原稿に光が入って画像が白く欠けたり、筋状や色のついた模様が出るときは、原稿の上から黒い布などでおおってください。
- 原稿を左右に分けてスキャンし、それらの画像を貼り合わせて1枚の画像にすることができます。詳しくは「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「まずはスキャンしてみよう」の「原稿台より大きな画像をスキャンする（画像の貼り合わせ)」をご覧ください。

スタンドで立ててスキャンする場合

1枚の原稿や2つ折り程度の薄い原稿などは、スキャナを立てた状態でセットすることができます。

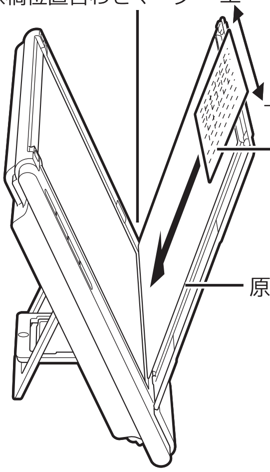
1 原稿台カバーを開きます。



> 重要
> 原稿台カバーは約40°まで開きます。
> 原稿台カバーを無理に開くと、原稿台カバーが破損したり、スキャナが倒れたりするおそれがあります。

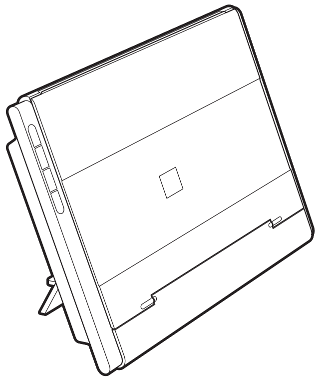
2 原稿を原稿台カバーに沿って入れます。

原稿台カバーに沿って原稿を落とすと、セットしやすくなります。



3 原稿台カバーを閉じます。

スキャナ本体と原稿台カバーがマグネットで密着するようになっています。



> 重要
> スタンドで立てたまま移動するときは、かならず原稿台カバーを閉じて手で押さえてください。

> 参考
> **以下のような場合は、スタンドで立てたときスキャンできません。**
> - 厚みのある原稿をスキャンするとき（→P.23）
> - 原稿台より大きな原稿をスキャンするとき（→P.24）
> - フィルムをスキャンするとき（→P.45）

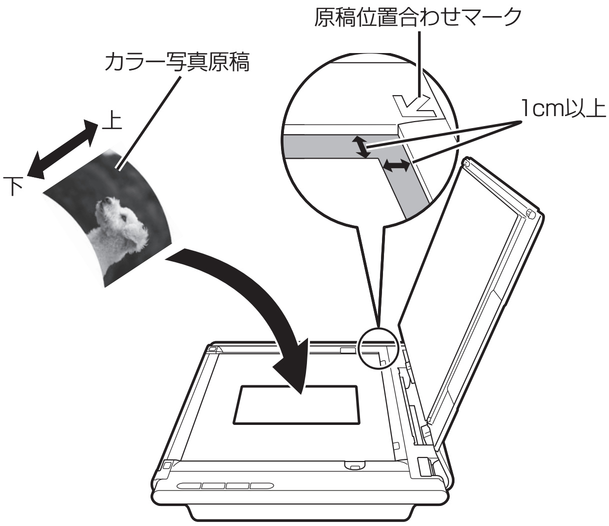
5 スキャンする

スキャナの動作確認をする

ここでは、MP Navigator EXを使って、スキャナの動作確認をする手順について説明します。スキャンする原稿には、カラー写真原稿をご用意ください。この操作には、セットアップCD-ROMからソフトウェアのインストールが必要です。（→P.8～14）

> **重要** 手順の途中でソフトウェアやスキャナがうまく動作しなくなった場合は、「困ったときには」の「スキャンのトラブル」（P.63～66）をご覧ください。

1 カラー写真原稿の読み取る面を下向きにし、原稿台の端と原稿の間を1cm以上空けてセットしたあと、原稿台カバーを閉じます。



2 Solution Menuから MP Navigator EXを起動します。

Windows デスクトップの［Canon Solution Menu］アイコンをダブルクリックし、［写真や文書を読み込みます］をクリックします。

Macintosh Dockの［Solution Menu］アイコンをクリックし、［写真や文書を読み込みます］をクリックします。



▼ MP Navigator EXが起動します。

3 ［写真や文書（原稿台）］をクリックします。



参考

タイトルバー（P.36）にお使いの機種名が表示されていることを確認してください。もし異なる機種名が表示されている場合は、［環境設定］ボタンをクリックし、「環境設定」画面でお使いの製品名を選択してください。

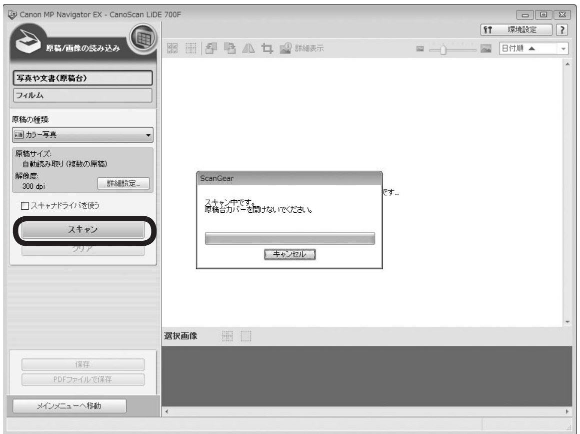
4 原稿の種類を選択します。

ここでは用意した原稿に合わせ、「原稿の種類」のプルダウンメニューから［カラー写真］を選択します。



5 ［スキャン］ボタンをクリックします。

▼ キャリブレーションが始まります。
キャリブレーションが終わると、スキャンが始まります。スキャンが終わると、読み取った画像が表示されます。



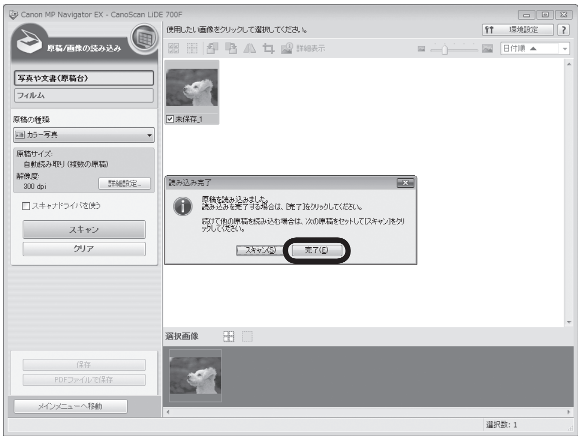
参考

キャリブレーションとは
初めてスキャンを行うときや、一定回数スキャンしたときに、正しい色あいを調整するために自動的に行われます。
キャリブレーションが始まったら表示されるメッセージに従い、終わるのを待って次の操作へ進んでください。

重要

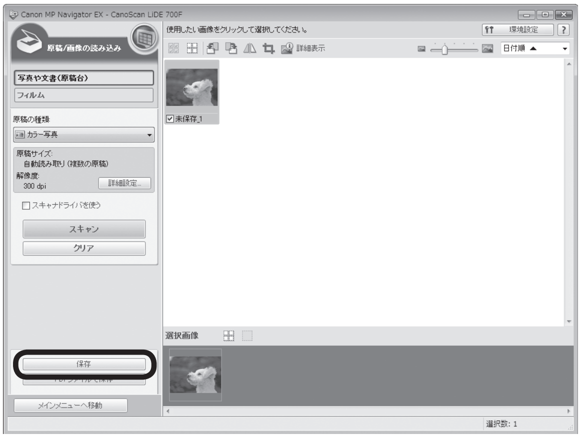
- スキャナの動作中には、スキャナ本体に手を触れたり、振動を与えないでください。画像がぶれるなどして正しい画像結果が得られないことがあります。
- 原稿読み取りユニットが動作中は、光源を直接長時間見ないでください。

6 「原稿を読み込みました。」というメッセージが表示されたら、[完了]ボタンをクリックします。



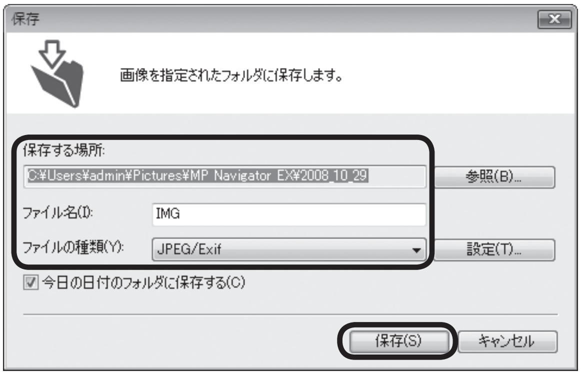
7 [保存]ボタンをクリックします。

▼「保存」画面が表示されます。



8 画像を保存します。

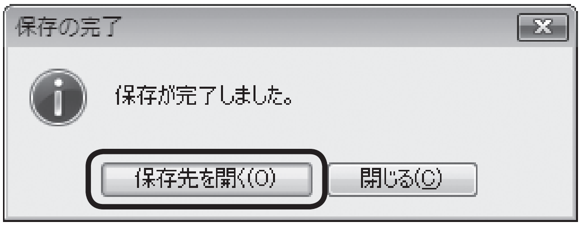
「保存する場所」、「ファイル名」、「ファイルの種類」をそれぞれ指定して、[保存]ボタンをクリックします。



9 保存した画像を確認します。

［保存先を開く］ボタンをクリックします。

▼ 画像を保存した先のフォルダが表示されます。





これでスキャナの動作確認は終了です。

MP Navigator EXを終了するには、閉じるボタン（×ボタン）をクリックします。

参考

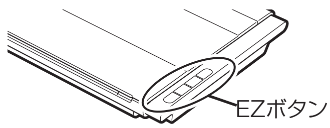
- MP Navigator EXの使いかたの詳細は、?(ガイド表示ボタン)をクリックして、「スキャンガイド」(電子マニュアル）をご覧ください。
- 文書原稿をスキャンする場合は、原稿の上端を原稿位置合わせマークに合わせてセットしてください。原稿の置きかたの詳細については、「原稿の置きかた」（P.20）をご覧ください。

6 いろいろなスキャン方法

次の3つの方法でスキャンできます。目的に応じて最適なスキャン方法を選んでください。

本体のボタンを使ってスキャンする

スキャナ本体のボタン（EZ（イージー）ボタン）を押してスキャンできます。EZボタンを使えば、コンピュータでソフトウェアを操作することなく簡単にスキャンできます。



こんなときにはEZボタン

- スキャンした原稿を複数のPDF文書として保存したい
- 原稿をスキャンしてコピーしたい
- 原稿をスキャンして画像を取り込みたい
- スキャンした原稿をメールに添付したい

詳細は

- 「本体のボタンを使ってスキャンする（EZボタン）」（→P.32）
- 「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「本製品の操作ボタン（EZボタン）でスキャンする」

付属のソフトを使ってスキャンする

付属のソフト（MP Navigator EX）を使ってスキャンできます。「原稿/画像の読み込み」シートでスキャンしたり、「パソコン内の画像を表示/利用」シートで画像を補正/加工することができます。また、「ワンクリックで目的別スキャン」シートからは目的にあわせた設定でより簡単にスキャンすることができます。



こんなときにはMP Navigator EX

＜「ワンクリックで目的別スキャン」シートの例＞

- 複数の原稿を一度にスキャンして別々のPDF文書として保存したい
- レイアウトを設定してプリントしたい
- スキャンした原稿をOCRソフトに取り込んで、テキストデータとして編集したい
- スキャンした原稿を指定したフォルダに保存したい

詳細は

- 「付属のソフトを使ってスキャンする（MP Navigator EX）」（→P.36）
- 「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「MP Navigator EXの画面説明」

スキャナドライバを使ってスキャンする

TWAIN（トウェイン）※ 対応のScanGear（スキャナドライバ）を使ってアプリケーションソフトからスキャンできます。詳しい画像設定でスキャンをしたい場合にお使いください。

※TWAINは、画像を取り込む機器などを接続するための標準規格です。



こんなときにはScanGear（スキャナドライバ）

- 試しの画像を見てから原稿をスキャンしたい
- 細かい設定をしてスキャンしたい
- スキャンする範囲を指定してスキャンしたい

☞ 詳細は

- 「スキャナドライバを使ってスキャンする（ScanGear）」（→P.40）
- 「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「ScanGear（スキャナドライバ）で細かく設定してスキャンしよう」

こんなときにはScanGear（スキャナドライバ）

- 色の調整や補正をしてスキャンしたい

☞ 詳細は

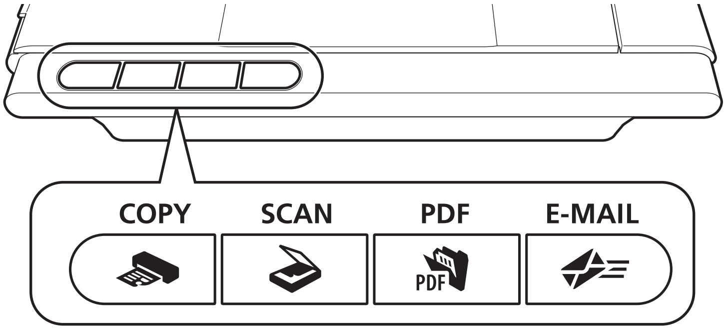
- 「スキャナドライバを使ってスキャンする（ScanGear）」（→P.40）
- 「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「ScanGear（スキャナドライバ）で画像補正や色調整をしてみよう」

7 本体のボタンを使ってスキャンする（EZボタン）

EZ（イージー）ボタンとは

スキャナ本体の4つのボタンを「EZ（イージー）ボタン」と呼びます。スキャナに原稿をセットしてEZボタンを押すだけで、PDF文書の作成や、原稿の印刷、画像のメール添付などができます。各ボタンの設定は、MP Navigator EXを使って変更できます。

※MP Navigator EXについては、「付属のソフトを使ってスキャンする（MP Navigator EX）」（P.36）をご覧ください。



COPY（コピー）ボタン ……………原稿をスキャンして、プリンタで印刷します。

SCAN（スキャン）ボタン …………原稿の種類を自動判別し、適切な設定でスキャン・保存します。

PDF（ピーディーエフ）ボタン ……原稿をスキャンして、簡単にPDF文書を作成し保存することができます。

E-MAIL（Eメール）ボタン …………原稿をスキャンして、新規メールにスキャンされた画像を添付します。メール添付に適したファイル容量に設定されています。

重要

EZボタンを使うには、セットアップCD-ROMから各機能に必要なソフトウェアがインストールされている必要があります（→P.6「付属のCD-ROMについて」）。また、プリンタドライバとメールソフトがインストールされ、プリンタとEメールが使用できる状態になっている必要があります。

※EZボタンがうまく動作しないときは､「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「困ったときには」をご覧ください。

Macintoshをお使いの方へ（EZボタンを使う前の設定について）

以下のコンピュータをお使いの方は、EZボタンを押したとき自動的に起動するアプリケーションを「MP Navigator EX」に設定しておく必要があります。

- **Mac OS X v.10.3.9 をお使いの場合**

  ［移動］メニューの［アプリケーション］から［イメージキャプチャ］をダブルクリックします。
  スキャナウィンドウの左下にある［オプション］をクリックし、「スキャナボタンが押されたときに起動するアプリケーション」でMP Navigator EXを選び、［OK］をクリックします。

原稿をスキャンしてプリント/コピーする（COPYボタン）

プリンタで印刷します。

参考
あらかじめコンピュータにプリンタドライバがインストールされ、スキャナ、プリンタ、コンピュータが同時に使用できる状態になっていることが必要です。ネットワーク上のプリンタでは正常に印刷できないことがあります。

1 スキャナに原稿をセットします。（→P.20）

2 ［COPY］ボタンを押します。

▼ MP Navigator EXの画面が自動的に表示され、スキャンが始まります。

スキャンされた画像はプリンタで印刷されます。

原稿をスキャンして画像を保存する（SCANボタン）

原稿の種類を自動判別し、適切な設定でスキャン・保存します。

1 スキャナに原稿をセットします。（→P.20）

2 ［SCAN］ボタンを押します。

▼ MP Navigator EXの画面が自動的に表示されます。メッセージの内容を確認し[OK]ボタンをクリックしてください。スキャンが始まります。

スキャンした画像は原稿の種類によって適切なファイル形式で保存されます。詳細は「原稿の種類に応じて自動でスキャン・保存する」（P.39）をご覧ください。

MP Navigator EXで画像の保存先を表示している画面



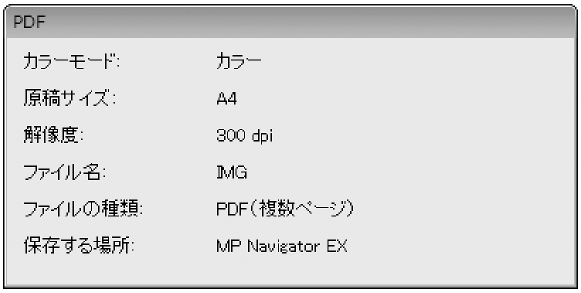
原稿をスキャンしてPDF文書として保存する（PDFボタン）

スキャンした画像を、PDF文書として保存します。

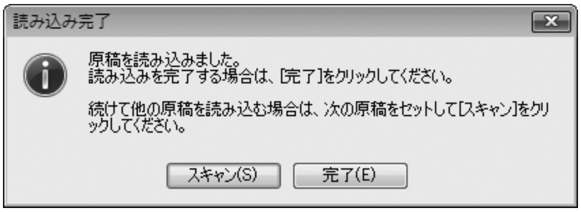
1 スキャナに原稿をセットします。（→P.20）

2 ［PDF］ボタンを押します。

▼ スキャンが始まり、設定値が表示されます。



▼ 1枚目の原稿のスキャンが終了すると、ページの追加または完了を選ぶメッセージが表示されます。



3 原稿の枚数に応じてページの追加または終了の操作をします。

●ページを追加する場合

スキャナに新しい原稿をセットして、［スキャン］ボタンをクリックします。追加のスキャンが終了すると、ページの追加または完了を選ぶメッセージが再び表示されます。

●終了する場合

［完了］ボタンをクリックします。終了すると、スキャンした画像がPDF形式で保存されます。

原稿をスキャンしてメールに添付する（E-MAILボタン）

メールの新規メッセージに画像ファイルを添付します。

参考

あらかじめメールソフトがインストールされ、送信できる状態になっている必要があります。
使用できるメールソフトは以下のとおりです。

Windows Windowsメール（Windows Vista）、Outlook Express（Windows XP/2000）、Microsoft Outlook

Macintosh Mail、EUDORA、MS Entourage

※Windowsで動作しない場合、メールソフトのMAPI設定が有効になっているかご確認ください。
MAPI設定の方法については、各メールソフトの説明書をお読みください。

1 スキャナに原稿をセットします。**（→P.20）**

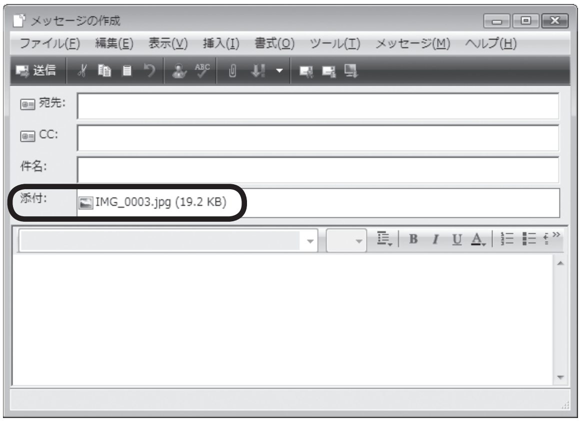
2 ［E-MAIL］ボタンを押します。

▼ MP Navigator EXの画面が自動的に表示され、スキャンが始まります。

▼ メールソフトが起動し、新規メッセージ画面が表示されます。スキャンされた画像は、添付ファイルとして新規メッセージに添付されます。

3 メールの宛先、タイトル、本文などを入力し、送信します。

メールソフトの新規メッセージ画面



参考

スキャンした画像の保存先について

スキャンした画像は、初期設定では、［ピクチャ］（Windows XPでは［マイ ピクチャ］、Windows 2000の場合は［My Pictures］）フォルダの中の［MP Navigator EX］フォルダに保存されます。保存先の変更方法については、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「MP Navigator EXの画面説明」をご覧ください。

8 付属のソフトを使ってスキャンする（MP Navigator EX）

MP Navigator EXとは

MP Navigator EXは、写真や文書などを手軽にスキャンできるユーティリティソフトです。
MP Navigator EXでは、簡単なスキャンの他に、画像の貼り合わせやScanGear（スキャナドライバ）を起動してのスキャン、スキャンした画像の補正/加工など、いろいろなことができます。

MP Navigator EXを起動する

Solution Menuの［写真や文書を読み込みます］をクリックします。（→P.15）

または、以下の方法で起動します。

Windows

方法1：　デスクトップの［Canon MP Navigator EX 2.1］アイコンをダブルクリックします。

方法2：　［スタート］メニューの［(すべての）プログラム］から［Canon Utilities］→［MP Navigator EX 2.1］→［MP Navigator EX 2.1］の順に選択します。

Macintosh　Macintosh HDの［アプリケーション］フォルダ内から［Canon Utilities］→［MP Navigator EX 2.1］アイコンを順にダブルクリックします。

▼ MP Navigator EXのナビゲーションモード画面が表示されます。

MP Navigator EXのシート の機能

機能別に以下のシートに分かれています。

「原稿/画像の読み込み」シート



［読み込み］アイコンにカーソルを合わせると「原稿/画像の読み込み」シートが表示されます。

お使いの機種名が表示されます。

クリックすると「原稿/画像の読み込み」画面が開きます。写真や文書、フィルムをスキャンできます。

ガイド表示ボタン
「スキャンガイド」（電子マニュアル）を表示します。

［環境設定］ボタン
「環境設定」画面で詳細な設定をすることができます。

「パソコン内の画像を表示/利用」シート



［画像の表示/利用］アイコンにカーソルを合わせると「パソコン内の画像を表示/利用」シートが表示されます。

クリックすると「画像の表示/利用」画面が開きます。
パソコン内に保存されている画像が表示され、印刷したり、Eメールに添付したり、付属のアプリケーションソフトを使って画像を編集したりできます。

「ワンクリックで目的別スキャン」シート



［ワンクリック］アイコンにカーソルを合わせると「ワンクリックで目的別スキャン」シートが表示されます。

目的のアイコンをクリックするだけで、「スキャンから保存」までを一度に行うことができます。
スキャナ本体のEZ（イージー）ボタンにも連動しています。
（→P.32「本体のボタンを使ってスキャンする（EZボタン）」）

参考

MP Navigator EXの使いかたの詳細については、?（ガイド表示ボタン）をクリックして、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「MP Navigator EXの画面説明」をご覧ください。

MP Navigator EXのワンクリックアイコンの機能



保存ボタン................原稿をスキャンし、画像を指定された保存先へ保存します。
出力解像度や原稿サイズ、ファイルの種類や保存先などが設定できます。
35mmフィルムもスキャンできます。



コピーボタン.............原稿をスキャンし、プリンタで印刷します。プリンタや用紙サイズ、コピー枚数を設定できます。35mmフィルムもスキャンできます。



印刷ボタン................紙焼き写真や35mmフィルムをスキャンし、「印刷レイアウト」画面で用紙のサイズ・種類や印刷方向などを決めて印刷します。
写真の焼き増しや引き伸ばしが簡単にできます。



メールボタン.............原稿をスキャンし、画像をメールソフトの新規メッセージに添付します。
ファイルの種類や保存先などの設定ができます。
（→P.35「使用できるメールソフト」）



OCRボタン..............文字原稿をスキャンし、付属のOCRソフト読取革命Liteでテキストデータとして読み取ります。テキストデータはワープロソフトなどで編集できます。
出力解像度や原稿サイズ、ファイルの種類や保存先などが設定できます。



スキャン-1ボタン......原稿をスキャンし、画像を指定したアプリケーションソフトへ渡します。
スキャン-2ボタン　初期設定では、［スキャン-1］ボタンをクリックするとMP Navigator EXに画像が渡され、［スキャン-2］ボタンをクリックするとArcSoft PhotoStudioに画像が渡されます。35mmフィルムもスキャンできます。



PDFボタン...............スキャンした画像を、PDF文書として保存します。
出力解像度や原稿サイズ、保存先などが設定できます。

重要

- **これらの機能を使うには、セットアップCD-ROMから各機能に必要なソフトウェアがインストールされている必要があります。（→P.6「付属のCD-ROMについて」）**
- **［コピー］ボタンと［印刷］ボタンを使うには、スキャナとプリンタが同時に使用できる状態になっていることが必要です。**

原稿の種類に応じて自動でスキャン・保存する

以下の場合には、原稿の種類に応じて適切な設定でスキャン・保存まで自動で行うことができます。

- EZ（イージー）ボタンの［SCAN］ボタンを押す
- MP Navigator EXのワンクリックモード画面で、［保存］ボタンまたは［スキャン-1］ボタンをクリックする

原稿の種類とスキャン・保存される際の設定は以下のとおりです。

<table>
<tr><th>原稿の種類</th><th>解像度</th><th>保存されるファイル形式</th></tr>
<tr><td>写真</td><td rowspan="4">300dpi</td><td rowspan="5">JPEG</td></tr>
<tr><td>はがき</td></tr>
<tr><td>名刺</td></tr>
<tr><td>CD/DVD</td></tr>
<tr><td>フィルム</td><td>1200dpi</td></tr>
<tr><td>雑誌</td><td rowspan="3">300dpi</td><td rowspan="3">PDF</td></tr>
<tr><td>新聞</td></tr>
<tr><td>文書</td></tr>
</table>

重 要

- **原稿の種類にあった置きかたをしないと、原稿の種類を正しく判別できない場合があります。「原稿の置きかた」（P.20）をご覧になり、正しくセットしてください。**
- **原稿によっては、正しくスキャンできない場合があります。詳しくは「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「MP Navigator EXの画面説明」をご覧ください。**

参 考

MP Navigator EXでEZボタンの設定が変更されている場合は、動作が異なる場合があります。MP Navigator EXについては「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「MP Navigator EXの画面説明」をご覧ください。

9 スキャナドライバを使ってスキャンする（ScanGear）

ScanGearとは

ScanGearは、スキャンするために必要なソフトウェア（スキャナドライバ）で、TWAIN（トウェイン）ドライバとも呼ばれています。
ScanGearには3つのモードがあり、スキャンする目的や種類によって選択します。

● 基本モード..........................基本的な設定で簡単にスキャンできます。（→P.41、P.54）
● 拡張モード..........................より細かい設定や画像調整をしてスキャンできます。（→P.42、P.55）
● おまかせモード....................原稿の種類を自動判別し適切な設定でスキャンします。（→P.43）

参考
ScanGearの使いかたの詳細については、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「ScanGear（スキャナドライバ）で細かく設定してスキャンしよう」をご覧ください。

ScanGearを起動する

ScanGearをアプリケーションソフトから起動します。

<例>MP Navigator EXから呼び出す場合
①MP Navigator EXを起動します。（→P.26、P.47）
②「原稿/画像の読み込み」シートで［写真や文書（原稿台）］または［フィルム］をクリックします。
③［スキャナドライバを使う］にチェックマークを付け、［スキャナドライバを起動］をクリックします。
▼ScanGearの画面が表示されます。

<例>ArcSoft PhotoStudioから呼び出す場合
①アプリケーションソフト（ArcSoft PhotoStudio）を起動します。
②［ファイル］メニューの［ソースの選択］でお使いのスキャナを選択します。

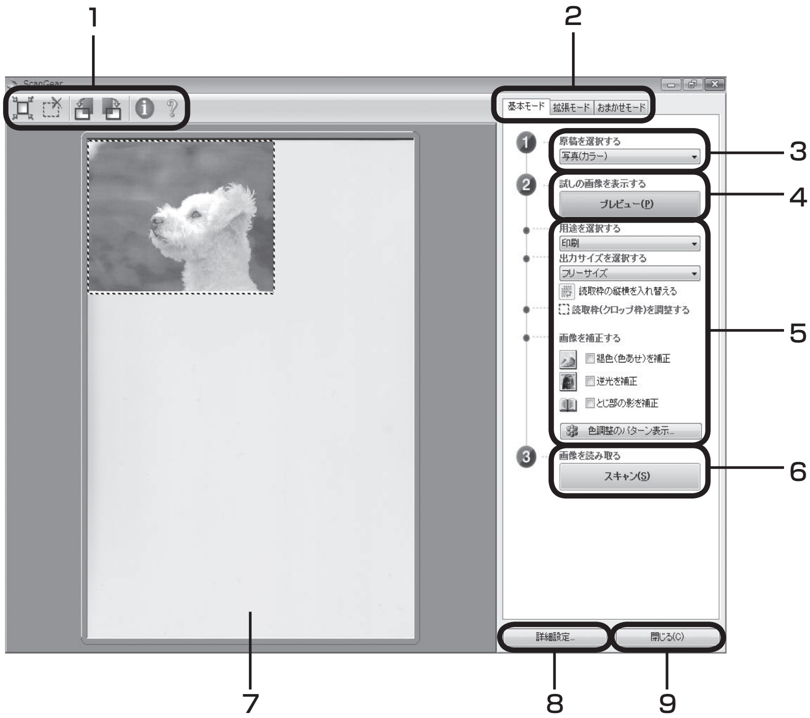
参考
- ご使用の機種名にWIAが付いていないものを選択してください。
- この操作は、最初に設定しておけば2回目以降必要ありません。ただし、他のスキャナやデジタルカメラを選択したあとは、この操作が必要です。アプリケーションソフトによっては毎回設定するものもあります。

③［ファイル］メニューの［取り込み］を選択します。
▼ScanGearの画面が表示されます。

※ 起動方法は、アプリケーションソフトにより異なります。

基本モード

3ステップの簡単な設定ですぐにスキャンできるモードです。



1 ツールバー

スキャン範囲の設定（オートクロップ）や削除、画像の回転、情報や操作説明の表示を行います。

2「基本モード/拡張モード/おまかせモード」タブ

タブをクリックして「基本モード」に切り換えます。

3 ❶原稿を選択する

[写真（カラー）]、[雑誌（カラー）]、[新聞（グレー）]、[文書（グレー）] から選択します。

4 ❷試しの画像を表示する：[プレビュー] ボタン

プレビューエリアに試しの画像が表示されます。

5 設定・調整・補正

用途の選択、出力サイズの設定、読取枠（クロップ枠）の調整、色あせや逆光の補正、とじ部の影補正、色調整パターン表示からカラーバランスを選択できます。

6 ❸画像を読み取る：[スキャン] ボタン

原稿をスキャンして、画像をアプリケーションソフトに転送します。

7 プレビューエリア

プレビュー画像を表示します。ここで、点線のクロップ枠をマウスでドラッグすることで、スキャンする範囲の調整ができます。

8 [詳細設定] ボタン

スキャナの動作にかかわる詳細な設定、およびキャリブレーション設定を行います。

9 [閉じる] ボタン

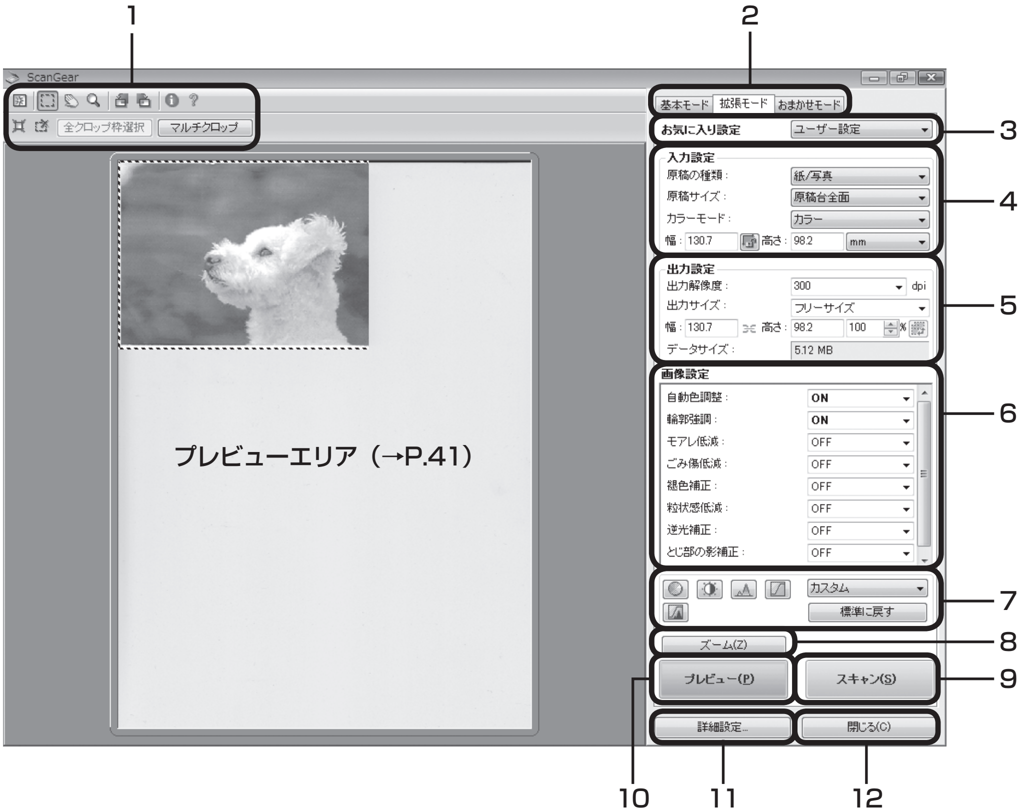
ScanGearの画面を閉じます。

参考

「基本モード」の詳細については、ツールバーの ? （操作説明表示ボタン）をクリックして、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「ScanGear（スキャナドライバ）の画面説明」をご覧ください。

拡張モード

スキャナや、スキャンした画像データの取り扱いに慣れた方や、細かい画像調整が必要な場合にお使いいただくモードです。



1 ツールバー

クロップ、オートクロップ、マルチクロップ、クロップの解除、ズーム、回転、情報や操作説明の表示を行います。

2「基本モード/拡張モード/おまかせモード」タブ

タブをクリックして「拡張モード」に切り換えます。

3 お気に入り設定

設定した内容に名前を付けて登録できます。また、別のクロップ枠やサムネイルに適用することもできます。

4 入力設定

原稿の種類やサイズ、カラーモードなどを設定します。

5 出力設定

出力解像度、出力サイズ、倍率を設定します。スキャンした場合の画像のデータサイズ（容量）も表示されます。

6 画像設定

ごみ傷低減、褪色補正や逆光補正のほか、とじ部の影補正など画像を補正する設定が行えます。

7 色調整ボタン

彩度、カラーバランス、明るさ、コントラスト、ヒストグラム、トーンカーブなどの調整ができます。

8［ズーム］ボタン/［戻す］ボタン

プレビューエリアで選択された範囲を拡大表示した後、［ズーム］ボタンが［戻す］ボタンに変わり、再び元の大きさに戻すことができます。

9［スキャン］ボタン

原稿をスキャンして、画像をアプリケーションソフトに転送します。

10［プレビュー］ボタン

プレビューエリアに試しの画像が表示されます。

11［詳細設定］ボタン

スキャナの動作にかかわる詳細な設定、およびキャリブレーション設定を行います。

12［閉じる］ボタン

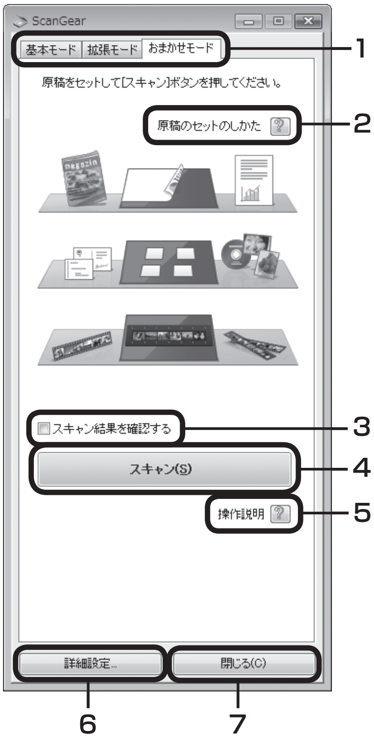
ScanGearの画面を閉じます。

参考

「拡張モード」の詳細については、ツールバーの ? （操作説明表示ボタン）をクリックして、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「ScanGear（スキャナドライバ）の画面説明」をご覧ください。

おまかせモード

原稿（写真、はがき、名刺、雑誌、新聞、文書、CD/DVD、フィルム）の種類を自動判別し、適切な設定でスキャンするモードです。



1「基本モード/拡張モード/おまかせモード」タブ

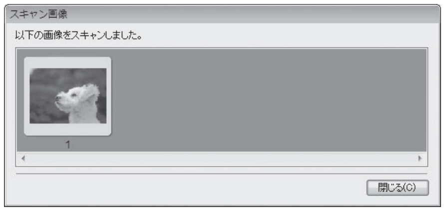
タブをクリックして「おまかせモード」に切り換えます。

2［原稿のセットのしかた］ボタン

ボタンをクリックすると、原稿のセットのしかたが表示されます。

3 スキャン結果を確認する

ここにチェックマークを付けておくと、スキャン後、右のようなスキャン画像が表示されます。



4［スキャン］ボタン

原稿をスキャンして、画像をアプリケーションソフトに転送します。

5［操作説明］ボタン

ボタンをクリックすると、「スキャンガイド」（電子マニュアル）が表示されます。

6［詳細設定］ボタン

スキャナの動作にかかわる詳細な設定、およびキャリブレーション設定を行います。

7［閉じる］ボタン

ScanGearの画面を閉じます。

重要

アプリケーションソフトによっては複数の画像を同時に受け取ることができないものがあり、複数の原稿が原稿台全体の1枚の画像として渡されたり、1枚目だけしか渡されない場合があります。MP Navigator EX など複数の原稿を一度に受け取ることができるアプリケーションソフトでスキャンしてください。

参考

「おまかせモード」の詳細については、（[操作説明］ボタン）をクリックして、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「ScanGear（スキャナドライバ）の画面説明」をご覧ください。

解像度と保存容量について

解像度とは、画像の「きめの細かさ」です。解像度を高く（数字を大きく）すると、それだけきめの細かい画像になりますが、スキャナからの読み込みや画像処理に時間がかかり、画像を保存するための保存容量も大きくなります。

解像度のめやす

「拡張モード」では「出力サイズ」（出力したい用途）によって解像度を設定できるようになっています。出力サイズは大きく3つの用途に分けられます。

①印刷を用途とした設定（L判、はがき、A4など）を選択した場合 **［300dpi］**
❷画面表示を用途とした設定（1280×1024pixelsなど）を選択した場合 **［150dpi］**
※①と②は、適切な出力解像度として初期値が自動的に設定されます。

❸ **［フリーサイズ］** の場合のめやすは以下のとおりです。
〈例〉「原稿の種類」は［紙/写真］、倍率（%）は［100%］の場合

原稿の種類	使用目的	カラーモード	出力解像度
カラー写真	焼き増しをする（プリンタで印刷する）	カラー	300dpi
	絵はがきを作る	カラー	300dpi
	パソコンに保存する	カラー	75～300dpi
	ホームページで使う/Eメールに添付する	カラー	75～150dpi
白黒写真	パソコンに保存する	グレースケール	75～300dpi
	ホームページで使う/Eメールに添付する	グレースケール	75～150dpi
文字原稿	コピーする	カラー /グレースケール/白黒	300dpi
	Eメールに添付する	カラー /グレースケール/白黒	150dpi
	OCRで文字を読み取る	カラー /グレースケール	300～400dpi

保存容量のめやす

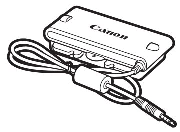
<例>カラー A4サイズ原稿をBMP、PICTで保存した場合の保存容量
- 出力解像度75dpiの場合：**約1.6MB**
- 出力解像度1200dpiの場合：**約400MB**

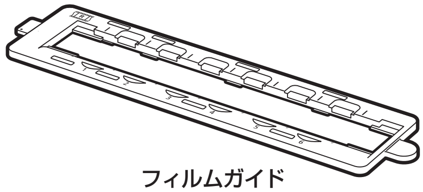
※JPEGなど圧縮ファイル形式で保存するとデータ容量は小さくなります。

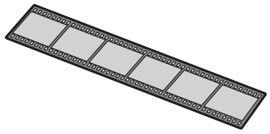
参考
詳細については、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「スキャンの役立つ情報」をご覧ください。

10 フィルムをスキャンする

このスキャナでは、35mmスリーブフィルムを1コマずつスキャンすることができます。
付属のフィルム用光源ユニット、フィルムガイドとスキャンする35mmスリーブフィルムを用意してください。


フィルム用光源ユニット


フィルムガイド


35mmスリーブフィルム

重要

- FAUコネクタには、付属のフィルム光源用ユニット以外のものを接続しないでください。接続された機器や本機の故障の原因となることがあります。
- FAUコネクタの金属部分に触れないでください。

参考

- 35mm マウントフィルムには対応しておりません。
- フィルム用光源ユニットやフィルムガイドを万一紛失したり破損した場合は、販売店でお取り寄せいただけます。

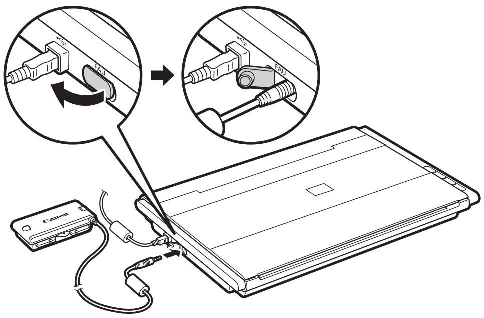
フィルムスキャンの準備をする

重要

フィルムガイドをセットする前に、スキャナの原稿台ガラス面のごみや汚れをきれいに清掃してください。ガラス面のごみや汚れは、画質に影響を及ぼしたり、フィルムを傷つけたりする場合があります。

1 フィルム用光源ユニットのケーブルをスキャナのFAUコネクタに接続します。

スキャナのFAUコネクタ部にはゴムキャップが付いています。ケーブルを接続するときはゴムキャップを外して差し込みます。

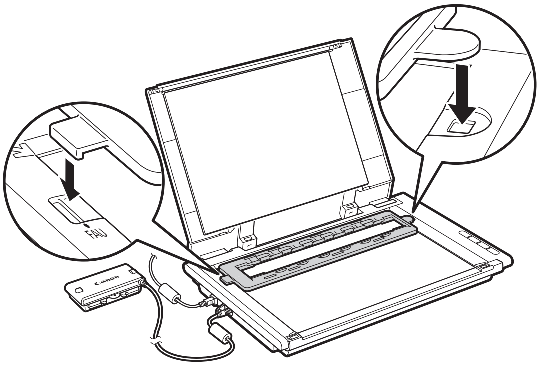


重要

フィルム用光源ユニットのケーブルは、FAUコネクタの奥までしっかりと差し込んでください。

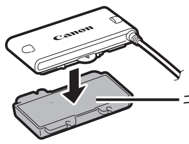
2 原稿台カバーを開き、フィルムガイドをスキャナにセットします。

フィルムガイドの突起を、原稿台のFAUマークに合わせてセットします。



> 重要
> 原稿台カバーを開くときは、カバーが完全に止まるところまで手を添えて開いてください。

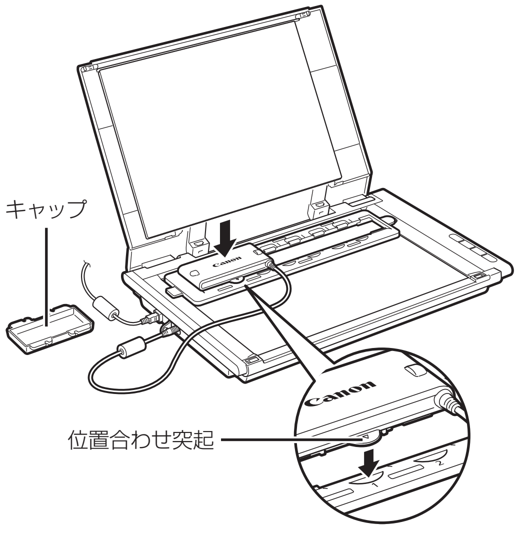
3 フィルム用光源ユニットのキャップを外します。



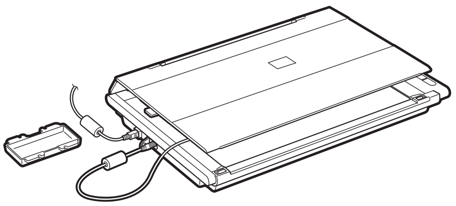
> 重要
> • フィルム用光源ユニットの発光面にごみや汚れまたは傷がつくと画質に影響を及ぼしたり、フィルムを傷つける場合があります。
> • 外したキャップはなくしたり、内側を汚したりしないように注意してください。

4 フィルム用光源ユニットをフィルムガイドの1コマ目へ静かに置きます。

フィルム用光源ユニットの位置合わせ突起がフィルムガイドに合う向きに置いてください。



5 原稿台カバーを静かに閉じます。



> 重要
> 原稿台カバーは原稿台から浮いている状態です。カバーを無理に押しつけたり、上から手を乗せたりしないように注意してください。

フィルムスキャンの動作確認をする

ここでは、MP Navigator EXを使って、フィルムスキャンの動作確認をする手順について説明します。

1 Solution Menuから MP Navigator EXを起動します。

Windows デスクトップの［Canon Solution Menu］アイコンをダブルクリックし、［写真や文書を読み込みます］をクリックします。

Macintosh Dockの［Solution Menu］アイコンをクリックし、［写真や文書を読み込みます］をクリックします。

▼ MP Navigator EXが起動します。



2 ［フィルム］をクリックします。

> **参考**
> タイトルバー（P.36）にお使いの機種名が表示されていることを確認してください。もし異なる機種名が表示されている場合は、［環境設定］ボタンをクリックし、「環境設定」画面でお使いの製品名を選択してください。



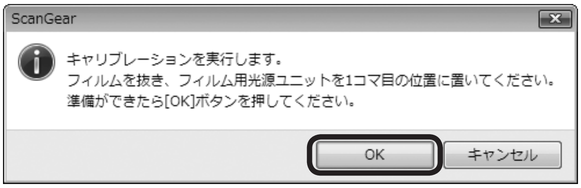
3 ［スキャン］ボタンをクリックします。

▼「キャリブレーションを実行します。」のメッセージが表示されます。

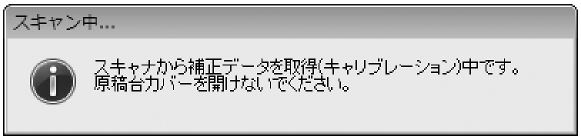
> **参考**
> **キャリブレーションとは**
> 初めてスキャンを行うときや、一定回数スキャンしたときに、正しい色あいを調整するために自動的に行われます。



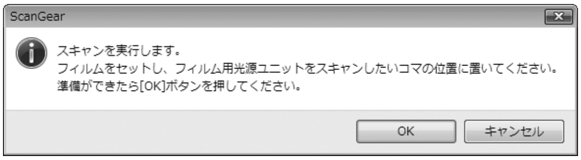
4 [OK] ボタンをクリックします。



▼ キャリブレーションが始まります。

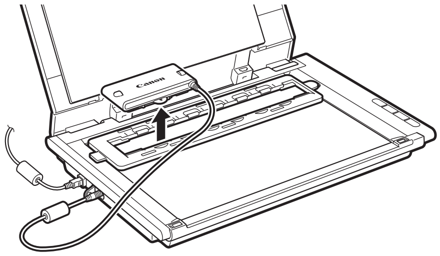


▼ キャリブレーションが終了すると、「スキャンを実行します。」が表示されます。
ここではまだ［OK］ボタンをクリックしないでください。

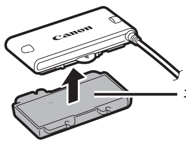


> **重要** スキャナの動作中は、スキャナ本体に手を触れたり、振動を与えないでください。

5 原稿台カバーを開き、フィルム用光源ユニットを真上に持ち上げて外します。



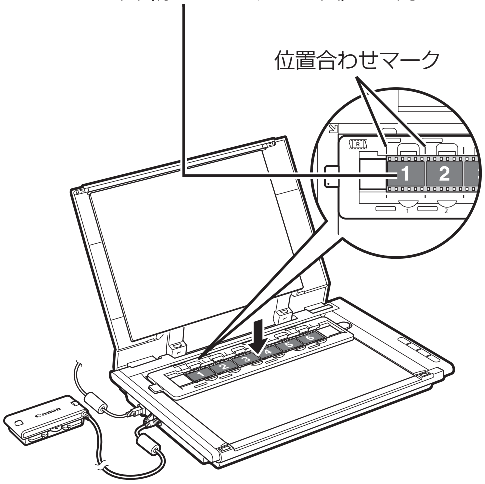
6 フィルム用光源ユニットの発光面にキャップを取り付けます。



キャップ

7 フィルムガイドにフィルムをセットします。

フィルムのおもて面（像が正しく見える面）を上向きにし、フィルムガイドの位置合わせマークの位置にフィルムのコマとコマの間が合うようにセットしてください。

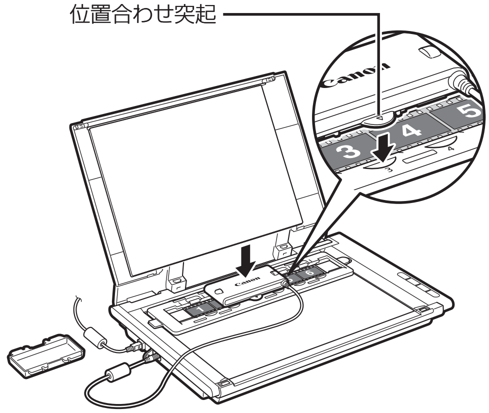


重要

- フィルムは、よごれや指紋が付かないように、ふちを指先ではさむようにして持ってください。
- フィルムや原稿台にほこりが付いていると、スキャンした画像に現れます。フィルムや原稿台のほこりは取り除いてください。
- フィルムの画像のない箇所に管理用のシールが貼られていると、それを画像と判断する場合があります。

8 フィルム用光源ユニットのキャップを外し、スキャンしたいコマへ静かに置きます。

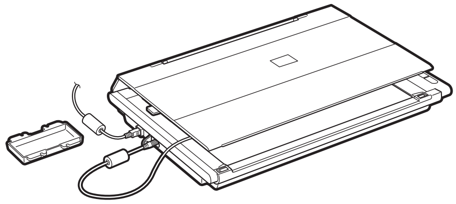
フィルム用光源ユニットの位置合わせ突起がフィルムガイドに合う向きに置いてください。



重要

フィルム用光源ユニットは、スキャンしたいコマの真上から静かに置いたり、持ち上げてください。フィルム用光源ユニットをフィルムガイドにセットした状態で動かすと、フィルムに傷がつくことがあります。

9 原稿台カバーを静かに閉じます。



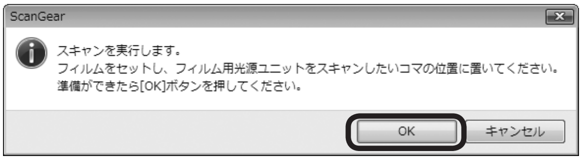
重要

原稿台カバーは原稿台から浮いている状態です。カバーを無理に押しつけたり、上から手を乗せたりしないように注意してください。

次のページへ

10 「スキャンを実行します。」画面で[OK]ボタンをクリックします。

▼ スキャン画像のプレビュー(試しの画像)が、プレビューエリアに表示されます。



重要

スキャナの動作中は、スキャナ本体に手を触れたり、振動を与えないでください。

11 プレビュー画像を確認します。



12 [スキャン]ボタンをクリックします。

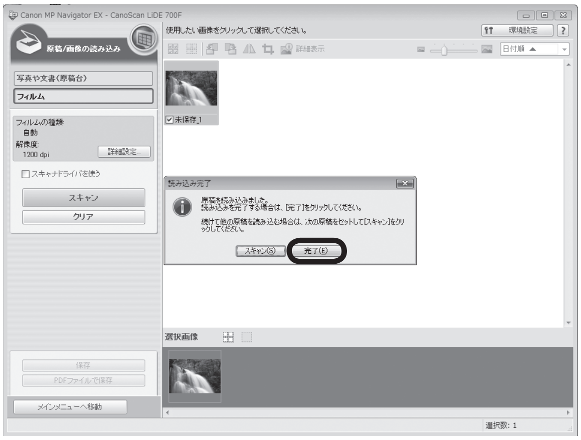
▼ 本スキャンが始まります。スキャンが終わると、読み取った画像が表示されます。



重要

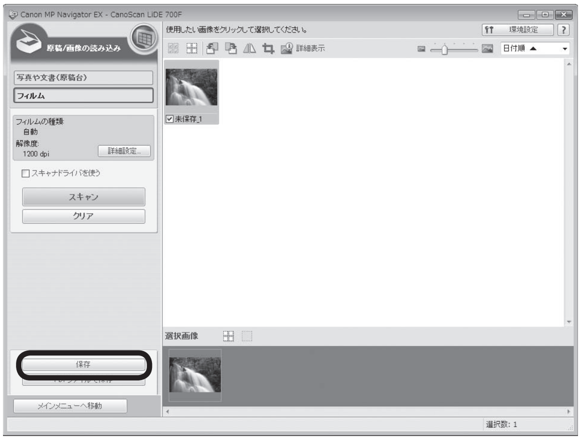
スキャナの動作中には、スキャナ本体に手を触れたり、振動を与えないでください。

13 「原稿を読み込みました。」というメッセージが表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。



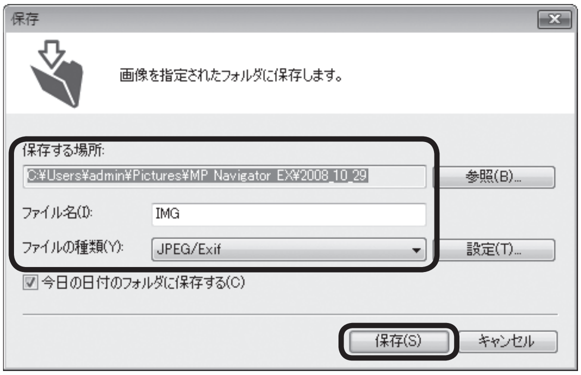
14 [保存] ボタンをクリックします。

▼「保存」画面が表示されます。



15 画像を保存します。

「保存する場所」、「ファイル名」、「ファイルの種類」をそれぞれ指定して、[保存] ボタンをクリックします。

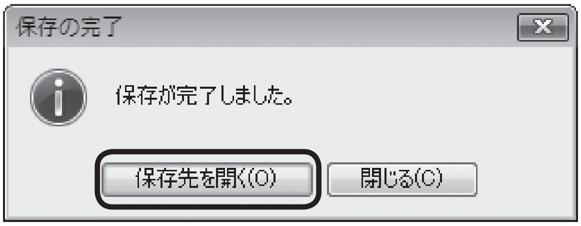


次のページへ

16 保存した画像を確認します。

［保存先を開く］ボタンをクリックします。

▼ 画像を保存した先のフォルダが表示されます。





参考

- MP Navigator EXの使いかたの詳細は、?（ガイド表示ボタン）をクリックして、「スキャンガイド」（電子マニュアル）をご覧ください。
- 2回目以降のフィルムスキャンの手順は、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「まずはスキャンしてみよう」の「フィルムをスキャンする」をご覧ください。
- 一定回数スキャンすると、「スキャナから補正データを取得（キャリブレーション）することをお勧めします。」というメッセージが表示されることがあります。メッセージにしたがってキャリブレーションを行ってください。
- フィルムスキャンがうまくできない場合は、本書（P.67 ～ 70）と「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「困ったときには」の「フィルムスキャンのトラブル」をご覧ください。

ScanGearを使ってフィルムスキャンすることもできます。

- **「ScanGearとは」（→P.40）**
- **ScanGearの起動方法（→P.40）**

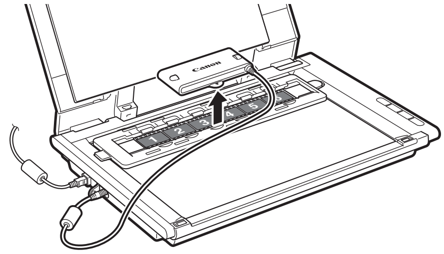
フィルムスキャンする場合のScanGearの各モードの画面については、「ScanGearの基本モード（フィルムスキャン）」（P.54）、「ScanGearの拡張モード（フィルムスキャン）」（P.55）、「おまかせモード」（P.43）をご覧ください。

ScanGearを使ったフィルムスキャンの詳細については、ツールバーの ?（操作説明表示ボタン）をクリックして、「スキャンガイド」（電子マニュアル）をご覧ください。

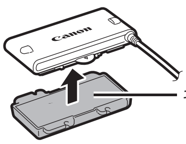
フィルムスキャンが終わったら

> **重要** フィルム用光源ユニットの発光面にごみや汚れまたは傷がつくと画質に影響を及ぼしたり、フィルムを傷つける場合があります。フィルムのスキャンが終わったら、かならずキャップをし、安全な場所に保管しておいてください。

1 原稿台カバーを開き、フィルム用光源ユニットを真上に持ち上げて外します。

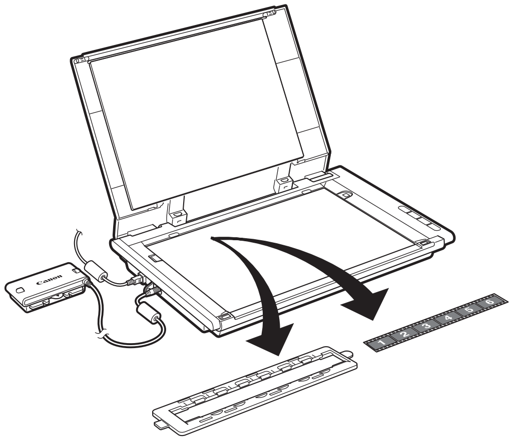


2 フィルム用光源ユニットの発光面にキャップを取り付けます。



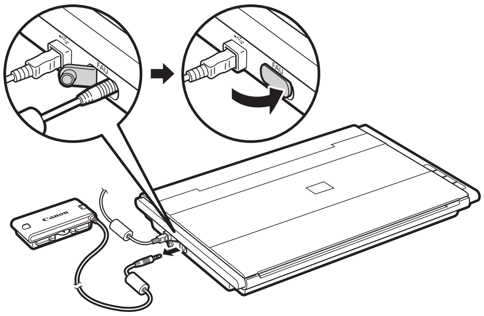
3 フィルムとフィルムガイドを原稿台から取り除き、安全な場所に保管します。

> **重要** フィルムを長時間原稿台に置いておくと、フィルムを傷めるおそれがあります。



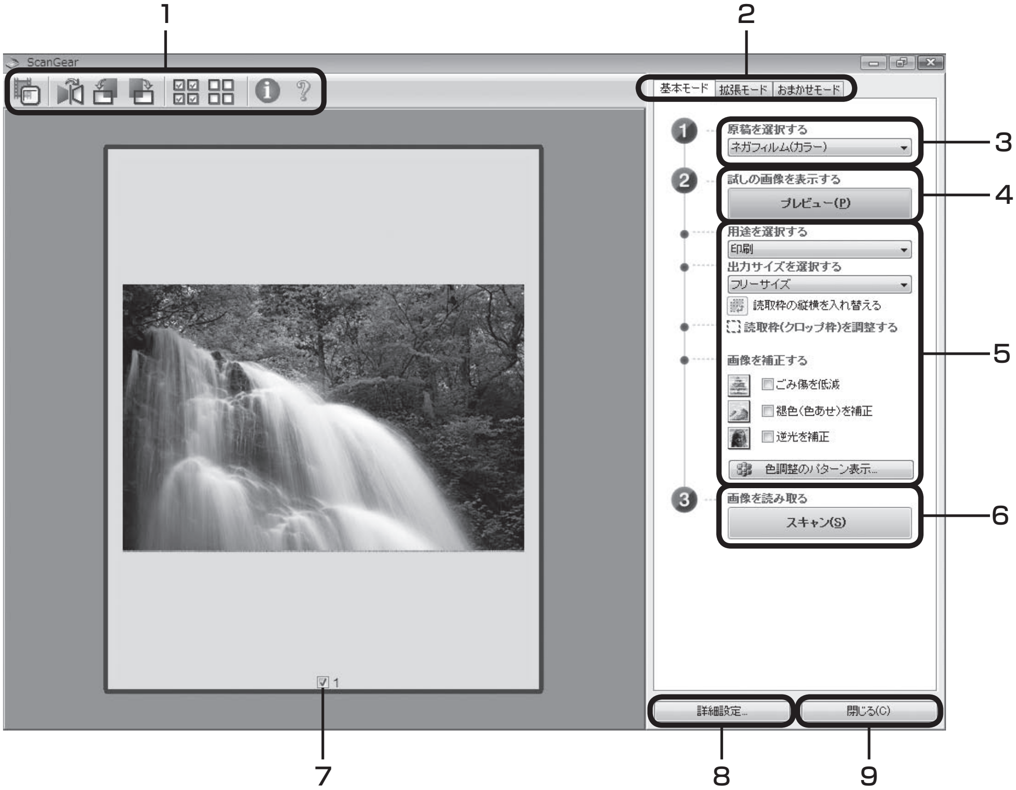
4 スキャナのFAUコネクタからフィルム用光源ユニットのケーブルを取り外します。

ケーブルを取り外したあとはスキャナのFAUコネクタ部にゴムキャップをつけてください。



ScanGearの基本モード（フィルムスキャン）

3ステップの簡単な設定ですぐにスキャンできるモードです。モノクロフィルムをスキャンするときは、「拡張モード」（P.55）をお使いください。



1 ツールバー

サムネイル表示や全選択、鏡像、画像の回転、情報や操作説明の表示を行います。

2「基本モード/拡張モード/おまかせモード」タブ

タブをクリックして「基本モード」に切り換えます。

3 ❶原稿を選択する

［ネガフィルム（カラー）］か［ポジフィルム（カラー）］から選択します。

4 ❷試しの画像を表示する：［プレビュー］ボタン

プレビューエリアに試しの画像が表示されます。

5 設定・調整・補正

用途の選択、出力サイズの設定、読取枠（クロップ枠）の調整、ごみ傷低減、色あせや逆光の補正、色調整パターン表示からカラーバランスを選択できます。

6 ❸画像を読み取る：［スキャン］ボタン

フィルムをスキャンして、画像をアプリケーションソフトに転送します。

7 プレビューエリア

サムネイル画像を表示します。スキャンしたいコマにチェックマークを付けます。

8［詳細設定］ボタン

スキャナの動作にかかわる詳細な設定、およびキャリブレーション設定を行います。

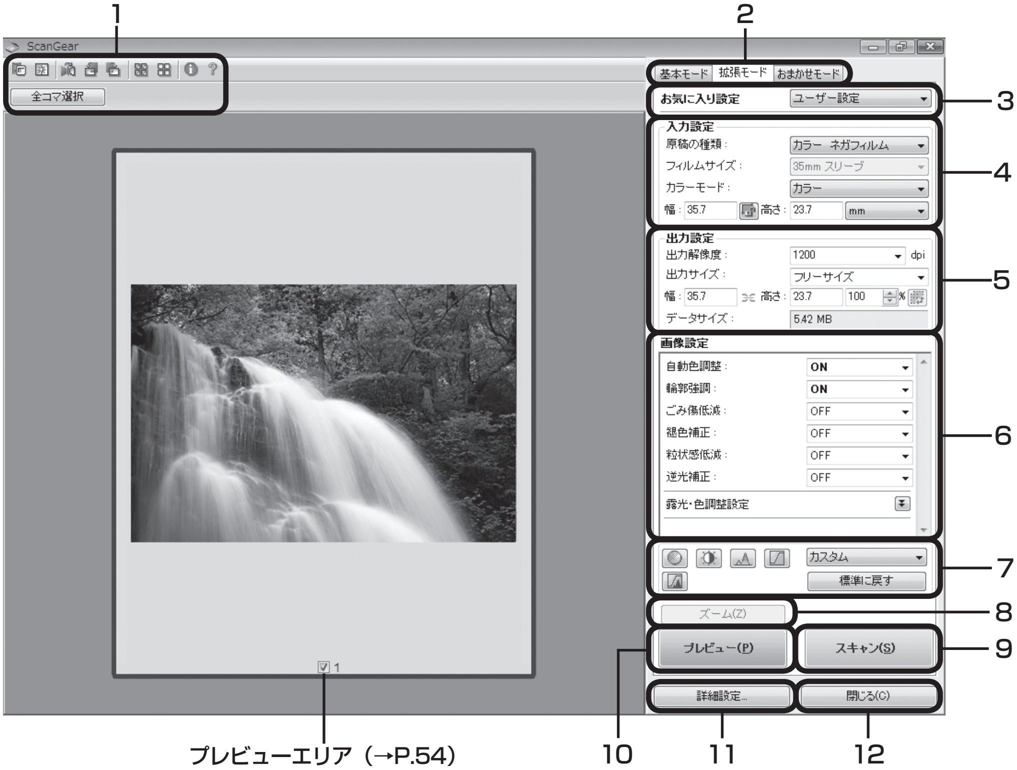
9［閉じる］ボタン

ScanGearの画面を閉じます。

> 参考
> 各ボタンの機能や設定項目の詳細については、ツールバーの ?（操作説明表示ボタン）をクリックして、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「ScanGear（スキャナドライバ）の画面説明」をご覧ください。

ScanGearの拡張モード（フィルムスキャン）

フィルム画像の色調や補正など、詳細な設定をしてフィルムをスキャンするモードです。スキャナや、スキャンした画像データの取り扱いに慣れた方や、細かい画像調整が必要な場合にお使いいただくモードです。



プレビューエリア（→P.54）

1 ツールバー

サムネイル表示、サムネイルの一括選択、クロップ、ズーム、鏡像、回転のほか、情報や操作説明の表示を行います。

2「基本モード/拡張モード/おまかせモード」タブ

タブをクリックして「拡張モード」に切り換えます。

3 お気に入り設定

設定した内容に名前を付けて登録できます。また、別のクロップ枠やサムネイルに適用することもできます。

4 入力設定

フィルム原稿の種類やカラーモードなどを設定します。

5 出力設定

出力解像度、出力サイズ、倍率を設定します。フィルムスキャン画像のデータサイズ（容量）も表示されます。

6 画像設定

ごみ傷低減、褪色補正、逆光補正、粒状感低減や露光調整など画像を補正する設定が行えます。

7 色調整ボタン

彩度、カラーバランス、明るさ、コントラスト、ヒストグラム、トーンカーブなどの調整ができます。

8［ズーム］ボタン/［戻す］ボタン

プレビューエリアで選択された範囲を拡大表示した後、［ズーム］ボタンが［戻す］ボタンに変わり、再び元の大きさに戻すことができます。

9［スキャン］ボタン

原稿をスキャンして、画像をアプリケーションソフトに転送します。

10［プレビュー］ボタン

プレビューエリアに試しの画像が表示されます。

11［詳細設定］ボタン

スキャナの動作にかかわる詳細な設定、およびキャリブレーション設定を行います。

12［閉じる］ボタン

ScanGearの画面を閉じます。

> **参考**
> 各ボタンの機能や設定項目の詳細については、ツールバーの ? （操作説明表示ボタン）をクリックして、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「ScanGear（スキャナドライバ）の画面説明」をご覧ください。

解像度と拡大率、データ容量について

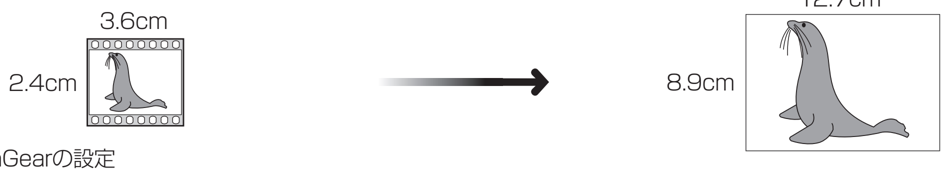
ScanGear（スキャナドライバ）の「拡張モード」でフィルムをスキャンする場合、初期設定では「出力サイズ」が［フリーサイズ］、「出力解像度」が［1200dpi］、倍率（%）は［100%］に設定されています。このままの設定では、フィルムのコマと同じ大きさの画像でスキャンされますので、ご注意ください。

フィルムをL判などに拡大するときには、「出力サイズ」で目的のサイズを選択してください。

「出力サイズ」で印刷目的の項目（名刺、L判など）を選択すると「出力解像度」は［300dpi］に、画面表示目的の項目（128×128pixelsなど）を選択すると「出力解像度」は［150dpi］に変わります（初期設定）。
このとき倍率（%）は、クロップされた範囲と出力サイズの大きさから自動的に設定されます。印刷目的や画面表示目的の項目に設定すると、出力解像度の変更はできますが、倍率（%）を変更することはできません。



35mmフィルムをL判に拡大するしくみ



ScanGearの設定
出力サイズ：L判
出力解像度：300dpi

→ 実際にスキャンする解像度：約1200dpi
（= 300dpi × 約4倍）

スキャン後の解像度：300dpi
データ容量：4.51MB

重要

実際にスキャンできる解像度（入力解像度）は、出力解像度×倍率になります。出力解像度を大きくすると、読み込みに時間がかかり、またデータの容量も大きくなりますのでご注意ください。
データの容量は「データサイズ」に表示されます。データの容量が大きくなる場合、「データサイズ」は赤字で表示され、また、［スキャン］ボタンをクリックしたときに、警告メッセージが表示されます。

保存容量のめやす（35mmカラーフィルムをL判で印刷する例）

出力解像度と出力サイズの設定	倍率	実際にスキャンする解像度	データ容量
300dpi、L判	約 4倍	約1200dpi	4.51MB
600dpi、L判	約 4倍	約2400dpi	18.05MB
1200dpi、L判	約 4倍	約4800dpi	72.20MB
2400dpi、L判	約 4倍	約9600dpi	288.80MB

※ データ容量はBMP、PICTで保存した場合です。

参考

等倍（100%）でスキャンしたあと、アプリケーションソフトの機能で、プリントサイズに調整することもできます。詳しくは各アプリケーションソフトの電子マニュアルなどをご覧ください。

11 スキャンガイド(電子マニュアル)を見る

ScanGear（スキャナドライバ）、MP Navigator EXの詳しい使いかたや、目的別のスキャン方法などを知りたいときは、「スキャンガイド」（電子マニュアル）をご覧ください。
※画面はWindows版の例です。

スキャンガイド（電子マニュアル）を起動する

「スキャンガイド」（電子マニュアル）は、ソフトウェアのインストール時にコンピュータのハードディスクへインストールされています。インストールされていない場合は、「Windowsにインストールする」(P.9 ～ 12) または「Macintoshにインストールする」(P.13 ～ 14) をご覧になり、インストールしてください。

方法1: Solution Menuの［お使いの製品や付属ソフトウェアの操作方法を説明します］をクリックします。

方法2: デスクトップのアイコンをダブルクリックします。

※ アイコンの表示は、お使いの環境によって異なります。



Canon CanoScan LiDE 700F 電子マニュアル（取扱説明書）

Windows



Canon CanoScan LiDE 700F 電子…扱説明書）

Macintosh

方法3: Windowsの場合、［スタート］メニューの［(すべての) プログラム］から［Canon CanoScan LiDE 700F マニュアル］→［Canon CanoScan LiDE 700F 電子マニュアル（取扱説明書)］を選択します。

▼「スキャンガイド」の入り口画面が表示されます。



参考

ScanGearの（操作説明表示ボタン）、MP Navigator EXの（ガイド表示ボタン）をクリックしても、「スキャンガイド」（電子マニュアル）が表示できます。ただし、「スキャンガイド」（電子マニュアル）がパソコンにインストールされている必要があります。

スキャンガイド（電子マニュアル）の使いかた

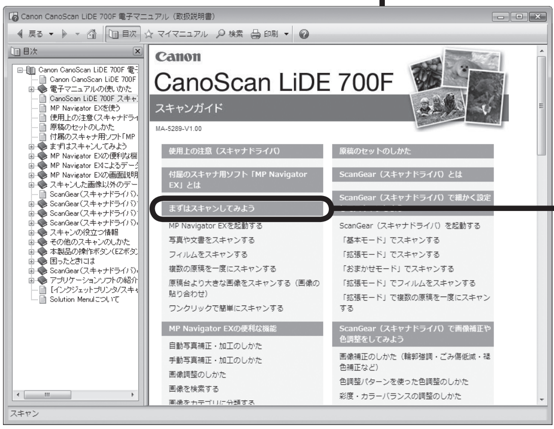


スキャンガイド入り口画面

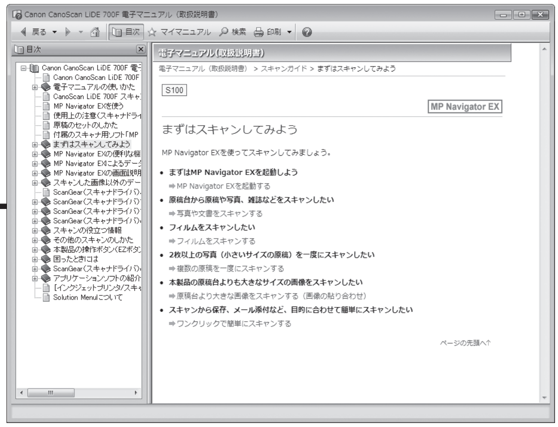
最初に表示されるのが「スキャンガイド」の入り口の画面です。
知りたい情報のリンクをクリックしてください。

全メニュー画面から項目を選ぶ

全メニュー画面から知りたい項目をクリックすると詳細なページが表示されます。



全メニュー画面



「まずはスキャンしてみよう」画面

Windowsの便利な機能



1［目次］ボタン

［目次］ボタンをクリックすることで、目次画面を閉じたり表示したりすることができます。

2［マイマニュアル］ボタン

よく読むページをマイマニュアルとして登録し、いつでも簡単に参照することができます。

3［検索］ボタン

キーワードを入力して、目的のページを探すことができます。

4［印刷］ボタン

［印刷］ボタンをクリックすると、印刷画面が表示されます。印刷したいトピックを選んで印刷したり、マイマニュアルに登録されているトピックを選んで、印刷することができます。

Macintoshの便利な機能

（検索フィールド）にキーワードを入力して、目的のページを探すことができます。

参考

電子マニュアルの詳細については「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「電子マニュアルの使いかた」をご覧ください。

スキャンガイド（電子マニュアル）の目次

※目次はWindows版の例です。

使用上の注意（スキャナドライバ）

付属のスキャナ用ソフト「MP Navigator EX」とは

まずはスキャンしてみよう
MP Navigator EXを起動する
写真や文書をスキャンする
フィルムをスキャンする
複数の原稿を一度にスキャンする
原稿台より大きな画像をスキャンする（画像の貼り合わせ）
ワンクリックで簡単にスキャンする

MP Navigator EXの便利な機能
自動写真補正・加工のしかた
手動写真補正・加工のしかた
画像調整のしかた
画像を検索する
画像をカテゴリに分類する

MP Navigator EXによるデータの活用方法
保存する
PDFファイルで保存する
PDFファイルを作成・編集する
文書を印刷する
写真を印刷する
Eメールに添付して送信する
データを編集する
PDFファイルにパスワードを設定する
パスワードで保護されたPDFファイルを表示、編集する

MP Navigator EXの画面説明
ナビゲーションモード画面
[原稿/画像の読み込み］シート
[パソコン内の画像を表示/利用］シート
[ワンクリックで目的別スキャン］シート
[写真や文書（原稿台）］画面（[原稿/画像の読み込み］ウィンドウ）
[フィルム］画面（[原稿/画像の読み込み］ウィンドウ）
[保存］ダイアログボックス
[PDFファイルで保存］ダイアログボックス
[画像の表示/利用］ウィンドウ
[PDFファイルの作成・編集］ウィンドウ
文書印刷ダイアログボックス
[写真印刷］ダイアログボックス
[メールに添付して送信］ダイアログボックス
[画像の補正/加工］ウィンドウ
ワンクリックモード画面
[保存］ダイアログボックス（ワンクリックモード画面）
[コピー］ダイアログボックス
[印刷］ダイアログボックス
[メール］ダイアログボックス
[OCR］ダイアログボックス
[スキャン］ダイアログボックス
[PDF］ダイアログボックス
[環境設定］ダイアログボックス

スキャンした画像以外のデータの表示
パソコンに保存されている画像データを表示する

原稿のセットのしかた

ScanGear（スキャナドライバ）とは

ScanGear（スキャナドライバ）で細かく設定してスキャンしよう
ScanGear（スキャナドライバ）を起動する
「基本モード」でスキャンする
「拡張モード」でスキャンする
「おまかせモード」でスキャンする
「拡張モード」でフィルムをスキャンする
「拡張モード」で複数の原稿を一度にスキャンする

ScanGear（スキャナドライバ）で画像補正や色調整をしてみよう
画像補正のしかた（輪郭強調・ごみ傷低減・褪色補正など）
色調整パターンを使った色調整のしかた
彩度・カラーバランスの調整のしかた
明るさ・コントラストの調整のしかた
ヒストグラムの調整のしかた
トーンカーブの調整のしかた
白黒設定のしかた

ScanGear（スキャナドライバ）の画面説明
[基本モード］シート
[拡張モード］シート
[おまかせモード］シート
[詳細設定］ダイアログボックス

スキャンの役立つ情報
クロップ枠の調整のしかた
解像度について
データのファイル形式について（ファイルの種類/フォーマット）
カラーマッチングについて

その他のスキャンのしかた
アプリケーションソフトからスキャンする
コントロールパネルからスキャンする（Windows XPのみ）

本製品の操作ボタン（EZボタン）でスキャンする
EZ（イージー）ボタンとは
原稿をスキャンしてプリント/コピーする（COPYボタン）
原稿をスキャンして画像を取り込む（SCANボタン）
原稿をスキャンしてPDF文書として保存する（PDFボタン）
原稿をスキャンしてEメールに添付する（E-MAILボタン）
EZボタンの動作設定をする
MP Navigator EXでEZボタンの動作設定をする

困ったときには
インストールのトラブル
スキャンがうまくできない
フィルムスキャンのトラブル
ソフトウェアのトラブル
MP Navigator EXのトラブル
ScanGear（スキャナドライバ）メッセージ/エラーメッセージ一覧

ScanGear（スキャナドライバ）の更新
最新のScanGear（スキャナドライバ）を入手する
不要になったScanGear（スキャナドライバ）を削除する
ScanGear（スキャナドライバ）をインストールする前に
ScanGear（スキャナドライバ）をインストールする

アプリケーションソフトの紹介
ArcSoft PhotoStudio
読取革命Lite

Solution Menuについて

[インクジェットプリンタ/スキャナ/ファクス使用状況調査プログラム］について

12 アプリケーションソフトの紹介

ここでは、本スキャナに付属のアプリケーションソフトの概要や機能について紹介します。これらのアプリケーションソフトを使って画像編集など、スキャンした画像をさらに便利に活用することができます。詳しい使いかたについては、各アプリケーションソフトの電子マニュアルをご覧ください。

※各アプリケーションソフトのお問い合わせ先は、裏表紙の「付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口とホームページ」をご覧ください。

画像編集（フォトレタッチ）ソフト

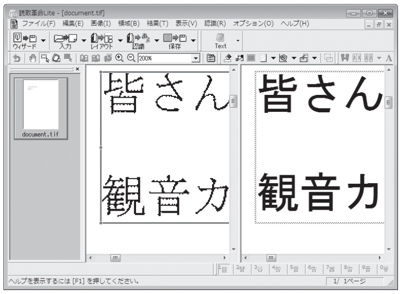
ArcSoft PhotoStudio



画像編集と画像加工に必要な機能を備えた画像編集ソフトウェアです。色調補正や特殊効果、画像の切り貼りなど目的に応じたフォトレタッチ機能が充実しています。

活字カラー OCRソフト

読取革命Lite



スキャンした活字書体を画像データとして読み取り､テキスト（文字）データに変換する「OCR（オーシーアール）」と呼ばれるソフトウェアです。日本語と英語の文字認識に対応し、変換後のテキストデータはワープロソフトなどで編集可能です。画像・表・罫線もそのまま文書に活かすことができます。

※文字認識において、原稿の状態、フォント、文字の大きさなどのさまざまな条件や操作上の設定によって、認識精度に差異が生じる場合があります。

参考

アプリケーションソフトの電子マニュアルを見るときは

- ArcSoft PhotoStudioマニュアル

  ［その他］のメニューからArcSoftのウェブサイトにアクセスし、マニュアルを入手してください。

- 読取革命Liteマニュアル（HTML）

  Windows ［スタート］メニューの［(すべての) プログラム］から［読取革命Lite］→［マニュアル］を選択します。

  Macintosh ［アプリケーション］フォルダの［読取革命Lite］フォルダ→［マニュアル.html］を選択します。

13 困ったときには

本書のとおりに操作してもソフトウェアがうまくインストールできない場合や、スキャナ本体が正常に動作しない場合の代表的な原因と対処方法を解説します。

重 要
ここにない症状については、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「困ったときには」をご覧ください。

インストールのトラブル

症状1＜Windows＞

スキャナを接続すると、「新しいハードウェアが見つかりました」（Windows XP/2000では「新しいハードウェアの検出ウィザード」）画面が表示される

原 因

セットアップCD-ROMでソフトウェアをインストールせずにスキャナを接続した。

対 処

パソコン側のUSBケーブルを抜き、「新しいハードウェアが見つかりました」（Windows XP/2000では「新しいハードウェアの検出ウィザード」）画面の［キャンセル］をクリックして終了し、セットアップCD-ROMでソフトウェアをインストールしてください。（→P.8～12）

症状2

セットアップCD-ROMをセットしても自動起動しない、メインメニュー画面が表示されない

原因1

CD-ROMが正しくセットされていない。

対 処

セットアップCD-ROMをセットし直してください。

原因2

CD-ROMの自動起動の設定がオフになっているか、何らかの理由で自動起動しない。

対 処

以下の手順でセットアップを直接起動してください。

Windows

❶ ［スタート］メニューの［コンピュータ］をクリックします。（Windows XPの場合、［スタート］メニューの［マイコンピュータ］をクリック、Windows 2000の場合、デスクトップの［マイ コンピュータ］アイコンをダブルクリックします。）

❷ CD-ROMドライブアイコンをダブルクリック、または、CD-ROMドライブアイコンを右クリックし［開く］をクリック後、［MSETUP4］をダブルクリックします。

重 要
CD-ROMドライブアイコン（Windows）や［Setup］アイコン（Macintosh）が表示されない場合は、CD-ROM ドライブが正常に動作していない可能性があります。コンピュータの製造元にお問い合わせください。または、セットアップCD-ROM が壊れている可能性があります。お客様相談センター（裏表紙）までご連絡ください。

原因3

セットアップCD-ROMやCD-ROMドライブに、ごみやほこりが付いている。または、CD-ROMが手あかなどで汚れている。

対処1

CD-ROMのごみやほこりは、やわらかい布で軽くはたくか、軽くぬぐって取り除いてください。

対処2

CD-ROMの手あかなどの汚れは、やわらかい布やめがねクリーナーなどで、CD-ROMに傷を付けないように軽くぬぐって取り除いてください。

対処3

CD-ROMドライブのごみやほこりは、カメラレンズ用のブロアブラシなどで吹き飛ばして取り除いてください。

重要

絶対にCD-ROMドライブのセンサー部を直接布で拭いたりしないでください。CD-ROMを読み取れなくなることがあります。

症状3

インストールの途中で「ハードディスク容量不足」のメッセージが出てインストールできなくなった

原 因

インストール先のハードディスクドライブが一杯になり、インストールできなくなった。

対 処

次の操作で十分なハードディスクの空き容量を確保した後、インストールし直してください。
インストールに必要なハードディスクの空き容量については「動作条件」(P.71)をご確認ください。

Windows

- [スタート] メニューの [(すべての) プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] で [ディスククリーンアップ] を選択し、ハードディスクドライブ (C:) の不要なファイルを削除します。
- 不要なファイルを選択し、右クリックして [削除] を実行します。[ごみ箱] を右クリックして、[ごみ箱を空にする] を実行します。
- [スタート] メニューの [コントロールパネル] (Windows 2000では、[設定] → [コントロールパネル]) → [プログラムのアンインストール] (Windows XPでは [プログラムの追加と削除]、Windows 2000では [アプリケーションの追加と削除]) を選択し、不要なファイルをアンインストール (削除) します。

Macintosh

不要なファイルを選択し、[ファイル] メニューから [ゴミ箱に入れる] を選択し、[Finder] メニューから [ゴミ箱を空にする] を選択します。

症状4

「メモリが足りません...」のメッセージが出てインストールできない

原 因

作業中のアプリケーションソフトなどでメモリを使用していて、インストールに必要なメモリ容量が確保できない。

対 処

開いているアプリケーションをすべて閉じるか、コンピュータを再起動して、その直後にインストールし直してみてください。

スキャンのトラブル

症状5
「ロックスイッチを解除し、・・・」というエラーメッセージが表示され、スキャンできない

原 因

スキャナ本体のロックが解除されていない。

対 処

いったんソフトを終了させてから、ロックを解除してUSBケーブルを接続し直してください。(→P.16～17)

症状6
スキャナが動かない

原 因

スキャナがコンピュータから認識されていない可能性がある。

対処1

コンピュータを再起動してみてください。
これだけでスキャナが認識され、動作するようになることがあります。

対処2

USBケーブルを外し、次の手順でScanGearをアンインストール（削除）して再インストールしてください。

Windows

❶ [スタート] メニューの [(すべての) プログラム] から、[お使いのスキャナ名] → [スキャナドライバ アンインストーラ] を選択します。
❷ 確認メッセージが表示されたら [実行] をクリックします。
❸ ScanGearとすべてのコンポーネントを削除する確認メッセージが表示されたら [はい] をクリックします。
❹ アンインストール（削除）が完了したら [完了] をクリックします。
以上でScanGearがアンインストール（削除）されます。
❺ セットアップCD-ROMをセットし、[選んでインストール] ボタンをクリックして、ScanGearのみにチェックを入れて再インストールします。

Macintosh

❶ ハードディスクから、[ライブラリ] → [Image Capture] → [TWAIN Data Sources] の順に開き、[お使いのスキャナ名.ds] アイコンをゴミ箱アイコンにドロップします。
❷ コンピュータを再起動します。以上でScanGearがアンインストール（削除）されます。
❸ セットアップCD-ROMをセットし、[選んでインストール] ボタンをクリックして、ScanGearのみにチェックを入れて再インストールします。

重 要

ScanGearをアンインストール（削除）するときは、コンピュータの管理者としてログインしてください。Mac OS Xを複数のユーザ（アカウント）でお使いの場合は、かならず登録した管理者のアカウントでログインしてください。コンピュータの管理者については、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。

症状7
エラーメッセージが表示されて、ScanGearの画面が表示できない

対処1

USBケーブルを接続し直してください。USBケーブルは、かならず付属のものをお使いください。（→P.17）

対処2

コンピュータ本体に複数のUSBポートがある場合、他のUSBポートに差し替えてみてください。

対処3

USBケーブルをUSBハブなどを介して接続しているときは、コンピュータ本体のUSBポートに直接接続してください。

対処4

セットアップCD-ROMをセットし、ソフトウェアをインストールしてください。
（Windows→P.9～12/Macintosh→P.13～14）

対処5

アプリケーションソフトの「ソースの選択」や「取り込み」の手順で、お使いのスキャナを選択してください。（→P.40）

対処6

アプリケーションソフトがTWAINに対応していることを確認してください。TWAINに対応していないアプリケーションソフトからScanGearを呼び出すことはできません。

対処7

他のアプリケーションソフト上でScanGearを起動している場合は、ScanGearを終了してください。

症状8
EZボタンが使えない

原因1

必要なソフトウェア（MP Navigator EXや付属のアプリケーションソフトなど）がインストールされていない。

対処1

セットアップCD-ROMを使用して、必要なソフトウェアを再インストールしてください。（Windows→P.9～12/Macintosh→P.13～14）

対処2

［COPY］ボタンを使用するには、お使いのプリンタのプリンタドライバをインストールします。プリンタが正常に動作するかチェックしてください。

対処3

［E-MAIL］ボタンを使用するには、下記のいずれかをインストールします。
Windowsの場合: Windows メール（Windows Vista）、Outlook Express（Windows XP/2000）、Microsoft Outlook
（メールソフトがうまく動作しないときは、メールソフトのMAPI設定が有効になっているか確認してください。MAPI設定の方法については、メールソフトの説明書をお読みください。）
Macintoshの場合: Mail、EUDORA、MS Entourage

原因2

EZボタンの動作設定をしていない。（Mac OS X 10.3.9のみ）

対 処

EZボタンの動作設定をしてください。
詳しくは「本体のボタンを使ってスキャンする（EZボタン）」の、「Macintoshをお使いの方へ」をご覧ください。（→P.32）

症状9
きれいにスキャンできない（モニタに表示された画像）

原因1

モアレ（縞模様など）が発生している。

対処1

ScanGearの「基本モード」の「原稿を選択する」で［雑誌（カラー）］を選んでスキャンしてください。（→P.41）

対処2

ScanGearの「拡張モード」の「画像設定」で「モアレ低減」を［ON］にしてスキャンしてください。（→P.42）

対処3

MP Navigator EXの「読み込みの詳細設定」ダイアログボックスで、「原稿の種類」から［雑誌（カラー）］を選択するか、［モアレ低減］をオンにしてスキャンしてください。

> **重要** デジタルプリント写真をスキャンしたときにモアレが発生した場合は、上記の対処2をご覧ください。

原因2

原稿台や原稿台カバーが汚れている。

対処

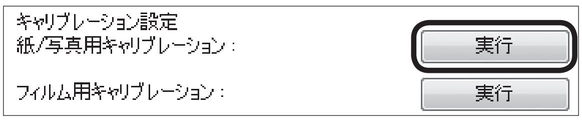
「日常のお手入れ」の手順にしたがって、清掃してください。（→P.5）

原因3

キャリブレーションデータの更新が必要になった。

対処

ScanGearの「詳細設定」画面の「スキャナ」タブで、「キャリブレーション設定」にある「紙/写真用キャリブレーション」を実行してください。（→P.41～43）



原因4

原稿にごみが付いていたり、褪色していたりして、原稿の状態が悪い。

対処

ScanGearの「拡張モード」の「画像設定」で「ごみ傷低減」、「褪色補正」、「粒状感低減」など、補正してスキャンしてください。

原因5

プレビューまたはスキャンしたとき、原稿の元の色あいと違ってしまう。

対処

ScanGearの「拡張モード」の「画像設定」で「自動色調整」を［OFF］に設定して、スキャンし直してください。

原因6

外光が入り画像が白く欠けたり、筋状や色のついた模様が出る。

対処

スキャナを黒い布などでおおってください。

症状10
正しいサイズで読み込めない

原 因

原稿が正しくセットされていない。

対 処

原稿台に正しくセットされているか確認してください。（→P.20）

症状11
スキャンの途中でコンピュータが動かなくなった

原因1

出力解像度の設定が高すぎる。

対 処

コンピュータを再起動し、ScanGearの出力解像度を下げてスキャンし直してください。（→P.41 ～44）

原因2

ハードディスクの空き容量が少ない。

対 処

大きな原稿を高解像度でスキャンするときなど画像サイズが大きいときは、コンピュータのハードディスクに画像をスキャンし保存するための十分な空き容量がないと判断され、エラーになることがあります。不要なファイルを削除し、コンピュータの空き容量を確保してから、スキャンしてください。
不要なファイルの削除について詳しくは、症状3の対処（P.62）をご覧ください。

原因3

複数の機器をUSBポートに接続している。

対 処

スキャナ以外の機器を外してお使いください。

症状12<Windows>
これまで使っていたWindowsをアップグレードしたら、スキャナが動かなくなった

対 処

USBケーブルを外し、ScanGearとMP Navigator EXをいったんアンインストール（削除）してから、再インストールします。

❶ ［スタート］メニューの［(すべての) プログラム］から、［お使いのスキャナ名］→［スキャナドライバ アンインストーラ］を選択します。
❷ 確認メッセージが表示されたら［実行］をクリックします。
❸ ScanGearとすべてのコンポーネントを削除する確認メッセージが表示されたら［はい］をクリックします。
❹ アンインストール（削除）が完了したら［完了］をクリックします。
以上でScanGearがアンインストール（削除）されます。
❺ ［スタート］メニューの［(すべての) プログラム］から、［Canon Utilities］→［MP Navigator EX 2.1］→［MP Navigator EX アンインストール］の順にクリックします。
❻ 確認メッセージが表示されたら、［はい］をクリックします。
❼ アンインストール（削除）が完了したら、［OK］をクリックします。
以上でMP Navigator EXがアンインストール（削除）されます。
❽ セットアップCD-ROMをセットし、［選んでインストール］ボタンをクリックして、ScanGearとMP Navigator EXを再インストールします。

フィルムスキャンのトラブル

症状13
フィルムのスキャンができない

原因１
フィルム用光源ユニットのケーブルが外れているか、または外れかかっている。

対処
フィルム用光源ユニットのケーブルをスキャナのFAUコネクタに接続し直してください。（→P.45）

原因2
フィルムガイドを置く位置がずれている。

対処
フィルムガイドを、スキャナの原稿台ガラスの正しい位置にセットしてください。（→P.46）

原因3
フィルム用光源ユニットが正しくセットされていない。

対処
フィルム用光源ユニットを、スキャンするコマへセットしてください。（→P.49）

原因4
原稿台カバーを閉じていない。

対処
原稿台カバーを正しく閉じてください。

原因5
ScanGearがフィルムスキャンの設定になっていない。

対処
ScanGearの「原稿を選択する」で［ネガフィルム（カラー）］または［ポジフィルム（カラー）］（基本モード）/「原稿の種類」で［カラー ネガフィルム］、［カラー ポジフィルム］、［モノクロ ネガフィルム］または［モノクロ ポジフィルム］（拡張モード）を選択してください。（→P.54、55）

原因6
MP Navigator EXの設定があっていない。

対処1
MP Navigator EXの［環境設定］ボタンでお使いのスキャナを選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。

対処2
MP Navigator EXの「ワンクリックで目的別スキャン」シートの各アイコン（P.38）をクリックして開く設定ダイアログボックスの「原稿の種類」で、フィルムまたは［フィルム（自動判別）］を選択し［適用］をクリックしてください。

※ EZボタンでスキャンできない場合も、対処1、2を行ってください。

症状14
スキャンの途中で止まる、または「メモリが足りません…」のメッセージが出てスキャンができない

原因

設定した解像度が高すぎる、出力サイズが大きい。

対 処

適切な解像度、または出力サイズへ変更し、スキャンし直してください。（→P.56）

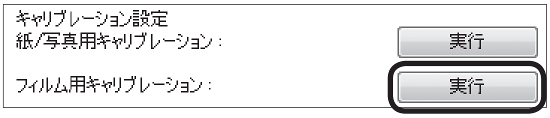
症状15
きれいにスキャンできない、適切な色あいでスキャンされない

原因1

キャリブレーションデータの更新が必要になった。

対処

フィルムガイドからフィルムを取り外し、フィルム用光源ユニットをフィルムガイドの1コマ目に置いてから、ScanGearの「詳細設定」画面の「スキャナ」タブで、「キャリブレーション設定」にある「フィルム用キャリブレーション」を実行してください。（→P.54、55）



原因2

原稿台やフィルム用光源ユニットの発光面にほこりや汚れが付着している。

対処

原稿台やフィルム用光源ユニットの発光面の汚れをきれいに取り除いてください。乾いたやわらかい布で拭くか、ブロアブラシで吹き飛ばしてください。（→P.5）

原因3

フィルムが褪色していたり画像が粗いなど、原稿の状態が悪い。

対処

ScanGearの「拡張モード」の「画像設定」で「ごみ傷低減」、「褪色補正」、「粒状感低減」などで補正してからスキャンしてください。（→P.55）

原因4

リング状の縞模様（ニュートンリング）が発生している。

対処

フィルムのおもて面を下にしてセットして［プレビュー］ボタンをクリックし、ScanGearツールバーの （鏡像）ボタンでプレビュー画像の左右を反転させ、［スキャン］ボタンをクリックしてください。（→P.54、55）

原因5

非常に暗いシーンや非常に明るいシーンのフィルムまたはフィルムのコマの間隔が非常に狭いフィルム（通常の間隔は2mm程度）をスキャンしようとしている。

対処1

EZボタンまたはMP Navigator EXでスキャンしたときに色あいが適切でない場合は、ScanGearでスキャンし直してください。（→P.55）

対処2

ScanGearでプレビューしたときに色あいが適切でない場合は、「拡張モード」で明るさやコントラスト、トーンカーブなどを調整してスキャンしてください。（→P.55）

症状16
プレビュー後、正常に表示されない

原因1

フィルムがずれている。

対処

いったんフィルム用光源ユニットを外し、フィルムガイド内にフィルムを置き直してください。フィルム用光源ユニットを置くときは、フィルムを動かさないように真上から静かに置いてください。
（→P.49）

原因2

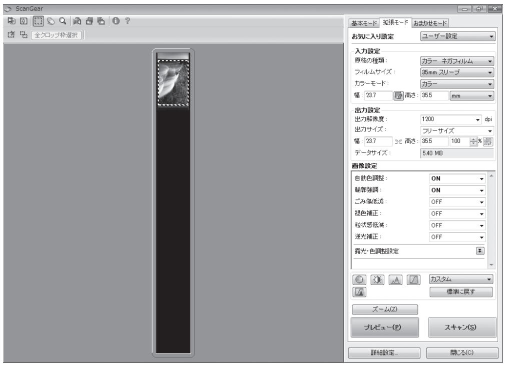
非常に暗いシーンや非常に明るいシーンのフィルム、またはフィルムのコマの間隔が非常に狭いフィルム（通常の間隔は2mm程度）をスキャンしようとしている。

対処

❶ ScanGearの「拡張モード」で、（サムネイル）ボタンをクリックし、フィルム全体表示にします。



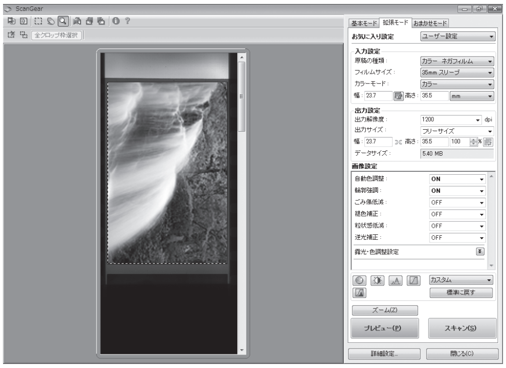
フィルム全体が表示されます。



❷ 表示されているクロップ枠をスキャンするコマ（フィルム用光源ユニットを置いたコマ）に正しく合わせます。

❸ （拡大/縮小）ボタンをクリックしたあと、プレビュー画像上をクリックして、画像を拡大します。

❹ （クロップ）ボタンをクリックし、クロップ枠を目的の大きさに微調整します。



❺ ［スキャン］ボタンをクリックしてスキャンします。

症状17
クロップ枠を移動、拡大・縮小すると、色あいがおかしくなる

原因

クロップする大きさや場所により、適切な色調整データにならない。

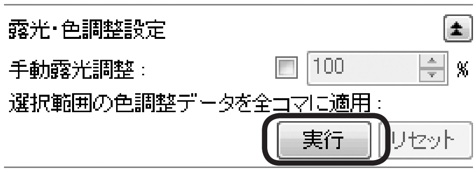
対処

ScanGearの「拡張モード」で、次のことを行ってください。（→P.55）

❶［プレビュー］ボタンをクリックして、再度プレビューします。

❷ フィルムサムネイル（縮小版）表示になっていることを確認します。フィルム全体表示のときは、（サムネイル）ボタンをクリックして、サムネイル（縮小版）表示にします。

❸「選択範囲の色調整データを全コマに適用」の［実行］ボタンをクリックします。



❹ クロップ枠を指定します。

❺［スキャン］ボタンをクリックして、スキャンします。

重要

- **ディスプレイに表示されたスキャン画像は問題がないのに、プリンタで印刷すると画質が悪くなったり印刷結果に余白が出てしまう場合は、プリンタの設定方法、または、プリンタのトラブルが考えられます。お使いのプリンタの取扱説明書をご覧ください。**
- **ここに記載されていない症状については、「スキャンガイド」（電子マニュアル）の「困ったときには」をご覧ください。**

動作条件*

*OSの動作条件が高い場合はそれに準じます。

	Windows	Macintosh
OS CPU メモリ	Windows Vista、Vista SP1 1GHz以上のプロセッサ 512MB Windows XP SP2、SP3 300MHz以上のプロセッサ 128 MB Windows 2000 Professional SP4 300MHz以上のプロセッサ 128 MB	Mac OS X v.10.5 Intelプロセッサ、PowerPC G5 PowerPC G4（867MHz以上）以上 512 MB以上 Mac OS X v.10.4 Intelプロセッサ、PowerPC G5、 PowerPC G4、PowerPC G3 256 MB Mac OS X v.10.3.9 PowerPC G5、PowerPC G4、PowerPC G3 128 MB
ブラウザ	Internet Explorer 6.0以上	Safari
ハードディスク空き容量	350 MB以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量	300 MB以上 注）付属のソフトウェアのインストールに必要な容量
CD-ROMドライブ	必要	
表示環境	XGA 1024 x 768以上	

- Windows Vista、XP、2000のいずれかがプレインストールされているコンピュータ
- Windows Media Centerでは、一部の制限があります
- Windows XP からWindows Vista にアップグレードして本機をお使いになる場合は、キヤノン製スキャナに付属のソフトウェアをアンインストールしてからWindows Vista にアップグレードしてください。アップグレード後、ソフトウェアをインストールしてください。
- Mac OS 拡張（ジャーナリング）またはMac OS 拡張でフォーマットされたハードディスクが必要です

電子マニュアルの動作環境

Windows	Macintosh
●ブラウザ : Easy Guide Viewer ※Microsoft Internet Explorer 6.0 以上がインストールされている必要があります。 ご使用のOS やInternet Explorer のバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、Windows Updateで最新の状態に更新することをお勧めします。	●ブラウザ : ヘルプビューア ※ご使用のOSやヘルプビューアのバージョンによっては、マニュアルが正しく表示されないことがあるため、最新のバージョンに更新することをお勧めします。

主な仕様

		CanoScan LiDE 700F
形式		フラットベッド型（原稿固定型）
センサータイプ		CIS（コンタクトイメージセンサー）
光源		3色（RGB）LED
光学解像度*1		9600 × 9600 dpi*2
読み取り解像度		25 ～ 19200 dpi（ソフトウェア補間）
読み取り階調	カラー	48ビット（RGB各色16ビット）入力 48ビットまたは24ビット（RGB各色16ビットまたは8ビット）出力
	グレースケール	16ビット入力/16ビット*3または8ビット出力
読み取り速度*4 （写真、文書）	カラー	33.5 msec/line（4800 dpi）、33.8 msec/line（2400 dpi） 8.6 msec/line（1200 dpi）、4.5 msec/line（600 dpi） 2.4 msec./line（300 dpi）
	グレースケール、白黒	11.3 msec/line（4800 dpi）、5.9 msec/line（2400 dpi） 2.9 msec/line（1200 dpi）、1.8 msec/line（600 dpi） 2.3 msec./line（300 dpi）
読み取り速度*4 （フィルム）	カラー、グレースケール、白黒	2.8 ～ 223.9 msec/line
インターフェース		Hi-Speed USB*4
最大原稿サイズ		A4/レター、216 × 297 mm
フィルムタイプ／読み取りコマ数		35 mmスリーブフィルム（ネガ、ポジ）*5 ／ 1コマ
EZボタン		4ボタン（COPY、SCAN、PDF、E-MAIL）
使用環境	温度範囲	5 ～ 35 ℃
	湿度範囲	10 ～ 90 % RH、フィルムスキャン時20 ～ 80 % RH （ただし結露のないこと）
電源		USBバスからの供給（ACアダプタ不要）
消費電力		動作時（最大）2.5 W、待機時1.5 W*6、サスペンド時11 mW*6
外形寸法（幅）×（奥行）×（高さ）		292 × 409 × 44 mm
質量		約2.1 kg*7

*1 光学解像度は、ISO 14473規格をもとに、原稿を読み取る際の最大のサンプリングレートを表しています。
*2 原稿の種類がフィルム以外の場合は4800 x 4800 dpiまでとなります。
*3 フィルムのみ対応。
*4 Hi-Speed USBモードのWindows環境における最速値。コンピュータへの転送時間は含みません。実際の速度は、スキャンする原稿やスキャンの設定、コンピュータの仕様等により変化します。
*5 35mmマウントに装着された状態でのスキャンはできません。
*6 USB接続時
*7 フィルム用光源ユニットを含む

製品の仕様は予告なく変更することがあります。

お問い合わせの前に

お問い合わせの前に、ここをチェック！！

- **すべてのソフトウェアをインストールしましたか？**（Windows→P.9/Macintosh→P.13）
- **スキャナのロックを解除しましたか？**（→P.16）
- **スキャナとコンピュータが正しく接続されていますか？**（→P.17）
- **MP Navigator EXをご使用時、お使いのスキャナが選択されていますか？**（→P.36）

本書およびスキャンガイドの「困ったときには」をご覧になってもトラブルが解決しない場合には、下記の要領でお問い合わせください。

パソコンなどのシステムの問題は？

本機が正常に作動し、スキャナドライバのインストールに問題がなければ、パソコンのシステム（OS、メモリ、ハードディスク、インターフェースなど）や、接続ケーブルに原因があると考えられます。

↓

パソコンを購入された販売店、およびパソコンメーカーにご相談ください。

アプリケーションソフトの問題は？

特定のアプリケーションソフトのトラブル、またはスキャナドライバのバージョンなどに原因があることが考えられます。

↓

各アプリケーションソフトメーカーにご相談ください。

最新のスキャナドライバをバージョンアップすると問題が解決することがあります。バージョンアップの方法については、「スキャナドライバを新しくするときは？」（P.74）をご覧ください。

本機の故障の場合は？

どのような対処をしても本機が動かない、または深刻なエラーが回復しない場合には、本機の故障と判断されます。パーソナル機器修理受付センターに修理を依頼してください。

↓

パーソナル機器修理受付センター
050-555-99088
【受付時間】<平日/土>9:00 ～ 18:00（日祝、年末年始を除く）

● 弊社修理受付窓口につきましては、別紙の「**サポートガイド**」をご覧ください。

● 修理窓口に宅配便でお送りいただく場合

輸送中の振動などで本機が損傷しないように、なるべくお買い上げ時の梱包材をご利用ください。

本機の梱包時/輸送時の注意点（重要）

梱包前にかならずロックスイッチを使ってスキャナ原稿読取ユニットを固定してください。本機を傾けたり、逆さにしたりせずに梱包/輸送してください。他の箱をご利用になる場合は、丈夫な箱にクッションを入れて、本機がガタつかないようにしっかりと梱包してください。

保証書について　保証期間中の保証書は、記入漏れのないことをご確認のうえ、かならず商品に添付、または商品と一緒にお持ちください。保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後5年間となります。なお、弊社の判断により、保守サービスとして同一機種、または同程度の仕様製品への本体交換を実施させていただく場合があります。同程度の仕様製品と交換した際は、それまでご使用中の付属品をご利用いただけない場合や、使用可能なOSが変更されることがあります。

どこに問題があるのか判断できない場合やその他のお困り事は

お客様相談センター　050－555－90021　　**キヤノンホームページ　canon.jp/support**
（全国共通電話番号）

※ 電話番号はおかけまちがいのないよう十分ご確認ください。

お問い合わせのシート

ご相談にすみやかにお答えするために、あらかじめ下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせくださいますようお願いいたします。

■スキャナについて
スキャナモデル名（　　　　　　　　　　　　　　）
本体機械番号（保証書の機番の記載、もしくはスキャナ本体の底面（背面）をご確認ください。）
（　　　　　　　　　　　　　　）
ご購入日（　　　　　　　　　　）
ご購入店（　　　　　　　　　　）

■スキャナの接続環境について
パソコンメーカー名（　　　　　　　　）　モデル名（　　　　　　　　）
内蔵メモリ容量（　　　　）MB
ハードディスク容量（　　　　　）GB　空き容量（　　　　　）GB
使用しているOS名　• Windows　□Vista（SP:　）□XP（SP:　）□2000（SP:　）
• Macintosh OS X（Ver.　　　　）• その他（　　　　　　）
常駐プログラム（ウィルスチェック、ファイル圧縮等）
（　　　　　　　　　　　　　　）
プリンタメーカー名（　　　　　　　　）　モデル名（　　　　　　　　）

■ソフトウェア環境
ご使用のアプリケーションソフト名およびバージョン
（　　　　　　　　　　　　　　Ver.　　　　　　）
スキャナドライバインストール方法
□付属CD-ROM　□ダウンロード　□その他（　　　　　　）

■エラー表示
エラーメッセージ（できるだけ正確に）（　　　　　　　　　　　　　　）

スキャナドライバを新しくするときは？

最新版のスキャナドライバは古いバージョンの改良や新機能に対応しています。
スキャナドライバを新しくする（「バージョンアップ」といいます）ことで、トラブルを解決することがあります。

準備
最新のスキャナドライバをダウンロードする

キャノン
ホームページに
アクセス

ステップ1
古いスキャナドライバを削除する（Windowsの場合）
[スタート] →
[（すべての）プログラム] →
[CanoScan LiDE 700F] →
[スキャナドライバ アンインストーラ] 以降は画面の指示にしたがってください。

ステップ2
最新のスキャナドライバをインストールする

◆削除・インストールの前に
スキャナとパソコンを接続しているケーブルを抜いてください。

※ スキャナドライバをバージョンアップした場合には、MP Navigator EXも最新版をお使いください。

ダウンロード・操作手順について詳しくは、 **canon.jp/download** へ

MEMO

MEMO

お問い合わせ窓口

ホームページには、製品情報、Q&A 検索、ドライバダウンロードなどの情報が掲載されています。ぜひご利用ください。
※ 通信料はお客様のご負担になります。
●**キヤノン キヤノスキャンホームページ　canon.jp/canoscan**

■付属のソフトウェアに関するお問い合わせ窓口とホームページ

ソフトウェアについては、「セットアップ CD-ROM」の電子マニュアル、またはソフトウェアの READ ME ファイル、HELP などをあわせてご覧ください。

● ArcSoft PhotoStudio（アークソフト・フォトスタジオ）

アークソフトジャパン　0570-060-655 / 03-5321-0550　http://www.arcsoft.jp/en/ 「テクニカルサポート」

● 読取革命 Lite（ヨミトリカクメイ・ライト）

パナソニック ソリューションテクノロジー（株）　0570-00-8700
パナソニック ソリューションテクノロジー ソフトサポートセンター　http://panasonic.co.jp/pss/pstc/products/bundle/

● ScanGear（スキャンギア）
● MP Navigator EX（エムピー・ナビゲーター・イーエックス）

キヤノンお客様相談センター　050-555-90021
キヤノンサポートホームページ　canon.jp/support

■スキャナの電話ご相談窓口

お客様相談センター（全国共通電話番号）050-555-90021

【受付時間】　<平日>9:00～20:00
<土日祝日>10:00～17:00（1/1～1/3は休ませていただきます）

※　上記番号をご利用いただけない方は043-211-9555をご利用ください。
※　IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※　受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※ お問い合わせされた場合、スキャナを接続しているコンピュータの状況などをお尋ねすることがあります。あらかじめ、P.74 の「お問い合わせのシート」のページに必要事項をご記入の上、大切に保管しておいてください。
※ **お問い合わせ窓口情報は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。**

キヤノンマーケティングジャパン株式会社　〒 108-8011　東京都港区港南 2-16-6

QT5-2199-V01　XXXXXXXX

PRINTED IN VIETNAM